

函館ラ・サール高校同窓生著作リスト

※2008 年第 8 回函館ラ・サール東京同窓会総会を機に、同窓生(敬称略)の単行本著作リストを作りました。

今回新たに著者 4 名(8 期・大月康義さん『語る記憶—解離と語りの文化精神医学』、12 期・鈴木基紀さん『作家の家』(共著)、14 期・中島克幸さん『上州をゆく—群馬のドラマを訪ねて—』、30 期・石川知裕さん『悪党 小沢一郎に仕えて』)が加わり、2011 年 11 月現在、同窓生 126 名、先生 11 名になりました。

うれしいニュースがあります。32 期・角幡唯介さんの『空白の五マイル チベット、世界最大のツアンポー溪谷に挑む』(集英社 定価 1680 円 第 8 回開高健ノンフィクション賞受賞作品)が「第 42 回大宅壮一ノンフィクション賞」に続き、「第 1 回梅棹忠夫・山と探検文学賞」に決定しました。おめでとうございます。新刊『雪男は向こうからやって来た』(集英社)も発売されました。

新刊は 6 期・伊藤恒敏さん『暴かれた地域医療の実像 銚子市立総合病院衝撃の破綻ドキュメント 病院再建を模索した 500 日間の真実』、7 期・渡邊博史さん『ラブ・ポイント』8 期・瀬戸正昭さん『花の国』、12 期・今野敏さん『転迷 隠蔽捜査 4』『同期』『化合』ほか、13 期・斎藤智文さん『日本人 NIPPON JINJI』、19 期・野寺博文さん『韓国強制合併から 100 年』です。

※データは 2011 年 11 月 24 日現在です。今後、年 2 回、「同窓生著作リスト」を更新していきます。

※雑誌掲載文・学術論文・大学紀要・外国語論文等は外してあります。

※書名の前にある★は母校図書館の「同窓生著書コーナー」にあります。

2008 年東京同窓会開催時、多くの著者の方々から著書をいただきました。母校の図書館には「同窓生著作コーナー」があり、現在では同窓生の著書は 150 冊近くになりました。

著書を快く母校図書館に寄贈していただいた著者の方々に感謝申し上げます。

※可能な限り調べましたが、このほか何人かの方が書いた著書があると思います。著者の方、同窓生の出版物をご存知の方は東京同窓会事務局 h1stokyo@yahoo.co.jp または函館同総会 HP 管理人・島本肇 h.shimamoto@hotmail.or.jp までお知らせください。

※新刊を出された著者の方はお知らせください。〔経歴〕の勤務先等は 2008 年データ作成時のものです。変更された方もお知らせください。

※母校図書館では「同窓生著書コーナー」を充実するために、著書を送付していただけたら、ありがたいとのことです。

〒041-8765 函館市日吉町 1-12-1 函館ラ・サール学園 図書館

卒業生として、同窓会として、母校図書館充実のために協力していきたいと思っています。

(データ作成 8 期・野呂春樹)

著者 []はペンネーム	書名	出版社	価格	発行年度
大 誠[大地賢三](1 期)	★『箱館戦争始末 土方歳三の恋』	ひねもすや出版	1700 円	2006 年 9 月
〔内容説明〕箱館戦争が始まったいきさつから顛末まで、史実に沿って分りやすくまとめながら、土方歳三の恋愛や、戦争に翻弄される庶民の姿などを生き生きと織り込んでいる。				
〔経歴〕1944 年函館市生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。元読売新聞記者。著書に★『箱館戦争人物伝 最後のサムライたちの死生観』(ひねもすや出版)★『大地賢三短編集』上・下巻(ひねもすや出版)。				

竹内伝史(1 期) ★『新・都市計画概論 改訂 2 版』(編著) 共立出版 3990 円 2006 年 12 月
〔内容説明〕都市論から都市計画の実務まで幅広い都市計画論を体系的に記述したテキスト。「都市計画とは何か」ということと共に「都市計画はどのように実施されるか」にも重点をおいて解説。景観法、まちづくり三法の改正などに対応。
〔経歴〕1944 年愛知県半田市生まれ。名古屋大学工学部卒業。名古屋大学大学院工学研究科修士課程修了。岐阜大学地域科

学部教授。主な著書に★『**交通工学 新版**』(共著・鹿島出版会)★『**人と車[おりあい]の道づくり**』(共著・鹿島出版会)★『**地域学への招待**』(共著・世界思想社)★『**交通**』(共著・オーム社)★『**異国阿房列車**』(風媒社)など。

門脇誠一(1期) ★『**ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典**』(共著) 小学館 3360円 2004年4月

[内容説明]「韓日」に7万、「日韓」に2万項目を収録した、学習・旅行・各種検定対策に威力を発揮する携帯用韓国語辞典。会話・作文にすぐ使えるフレッシュな用例満載。韓日・日韓相互参照で表現力もアップ。入門会話表現集も収録。

[経歴]1944年函館市生まれ。北海道大学文学部卒業。北海道大学大学院文学研究科博士課程中退。北海道大学大学院文学研究科教授。北海道大学名誉教授(文)。著書に『**朝鮮語辞典**』(共著・小学館)『**日本学・敦煌学・漢文訓読の新展開**』(共著・汲古書院)『**日韓辞典**』(共著・小学館)など。

菊池俊治(1期) 『**つきがみていたはなし**』(共著) こぐま社 1260円 1987年9月

[内容説明]山の学校の庭では、満月になると森の動物たちが一晩中、遊んだり踊ったり。その楽しい様子を教室の窓から見ていた粘土や絵の動物たちは、明け方、山に帰っていく動物たちに、小さな声で「またおいでね」といいました。ところが嵐の去った翌日、満月なのに動物たちはやってきません。心配した動物たちは…。月の光の中で繰り広げられるファンタジー。

[経歴]1944年函館市生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒業。同大在学中は棟方志功・恩田秋夫に学んだ。70年、日本版画院展・新人賞を受賞する。各国に取材旅行を重ねて創作活動を続けており、個展も国内外で多数開いている。雑誌「論座」(朝日新聞社2008年9月で休刊)の表紙も担当した(2003年2月～2005年9月)。著書に『**木版画ノート**』(共著 視覚デザイン研究所)。

藤田耕之輔(2期) 星『**土と食糧 健康な未来のために**』(共著「植物栄養生理学」) 朝倉書店 5775円 1998年9月

[内容説明]食糧生産の基盤は土壌である。持続性のある食糧生産における土と植物のもつ機能の重要性を、環境学、科学、農学などから多面的にわかりやすく解説した。

[経歴]1945年亀田郡大野町(現・北斗市)生まれ。北海道大学農学部卒業。北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。広島大学大学院生物圏科学研究科教授。著書に『**植物と微生物による環境修復**』(共著・博友社)『**生物生産学のプロローグ**』(共著・共立出版)など。

山崎幸雄(2期) ★『**日本語を使いこなす言葉の実用辞典**』(共監修) 小学館 2520円 2007年10月

[内容説明]語彙や表現の幅を広げる、言葉の意味の知識を深める、誤用を正す。この3つのテーマを柱として、日常使われる言葉を中心に約4500語を収録。豊かな日本語表現への手引書であり、手紙やスピーチなど実用にも役立つ一冊。

[経歴]1946年函館市生まれ。東京大学文学部第三類言語学専修卒業。東京大学大学院人文科学研究科言語学専門修士課程修了。新潟大学人文学部准教授。

川端和治(2期) ★『**くらしの相談室 慰謝料 Q&A**』(編著) 有斐閣 1957円 1990年7月

[内容説明]精神的な打撃という被害に対する賠償である慰謝料。慰謝料はどのような場合にどれくらい認められているのだろうか。具体的な51のケースから慰謝料の実際とその本質を考える。

[経歴]1945年虻田郡倶知安町生まれ。東京大学法学部卒業。霞ヶ関総合法律事務所弁護士。大宮法科大学院大学教授。主な著書に『**雇用関係の法律常識**』(編著・日本評論社)★『**クイズ法律入門**』(共著・有斐閣)★『**NHK ミニミニ六法**』(共著・日本放送出版協会)『**Q&Aでわかるネットビジネス法律相談室**』(共著・日経BP社)など。

秋好憲一(3期) ★『**ヤツメウナギが世界の眼を救う その驚くべき抗老化パワー**』 文化創作出版 980円 2006年3月

[内容説明]ヤツメウナギに含まれる天然コエンザイム Q10 は、イワシの2倍。また、目のビタミンはマサバの340倍もの含有量がある。眼生力をつける天然コエンザイム Q10 とヤツメウナギのアンチエイジングパワーを紹介。

[経歴]1946年佐賀県生まれ。三笠市出身。成蹊大学卒業。理学博士。NPO法人「予防医学・代替医療振興協会」日本事務局長・常任理事専務理事。生活習慣病予防や中高年の更年期克服など、予防医学の意識普及や日本型食生活の見直しに精力的な講演・執筆の活動を行っている。著書に★『**健康食材おいしいゴーヤを召し上がれ**』(環健出版社(発売・三冬社))★『**腸から始める老化対策**』(環健出版社(発売・星雲社))など。

遠藤八郎(3期) ★『親の目子の目世間の目もひとつおまけに教師の目 新版』三省堂 1680円 1996年3月
〔内容説明〕親の役割・教師の役割とは、行きつくところ「型破りな人間を育てる」こと。長年の教師体験をもとに、親・子・地域・教師のあり方を多彩に率直に論じた好エッセイ。

〔経歴〕1946年函館市生まれ。明治学院大学文学部卒業。拓殖大学国際開発学部教授を経て、東北福祉大学総合福祉学部教授。国際エドゥケーター・放送ジャーナリストとしても活躍。主な著書に★『日本人の英語 外国人の日本語』(三省堂)『英語は第2の日本語だ!』(英潮社新社)★『心と気持のほぐし方』(三省堂)など。

乗木新一郎(3期) 『環境の化学分析』(共著「海水」) 三共出版 4300円 1998年3月
〔内容説明〕大気、陸水と海水、土壌など、自然環境の汚染の歴史を概観して、環境中の化学物質の測定法について、試料採取から定量分析、そしてデータ解析までの一連の操作を系統的に解説。

〔経歴〕1946年上磯郡木古内町生まれ。室蘭工業大学工学部卒業。北海道大学大学院水産学研究科博士課程修了。北海道大学大学院地球環境科学研究院教授。著書に『海洋化学 化学で海を解く』(共著・産業図書)『大気・水圏の地球科学』(共著・培風館)『環境負荷を予測する モニタリングからモデリングへ』(共著・博友社)など。

羽二生邦彦(3期) ★『成長障害の診察室から よくわかる低身長児の診療ガイド』医学図書出版 1575円 2002年12月
〔内容説明〕成長障害の治療は早期発見・早期治療が重要であり、大多数の低身長児では適切な治療を続けることでより順調な発育・成長を促すことが期待できる。一般市民を対象にした「成長障害フォーラム」での講演をまとめる。

〔経歴〕1946年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学第二内科を経て、仙台市青葉区にて羽二生クリニック開業。内分泌疾患を専門とし、数多くの成長障害に悩む子供たちの治療にあたっている。

木村和範(4期) ★『ジニ係数の形成』北海道大学出版会 3990円 2008年3月
〔内容説明〕経済格差の計測に今なお現役の統計指標として活用されているジニ係数の形成史を、イタリア語、英語、ドイツ語、フランス語、デンマーク語の原典にもとづいて考察。

〔経歴〕1948年茅部郡森町生まれ。北海道大学経済学部卒業。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。北海学園大学経済学部教授(同大学大学院教授兼任)。主な著書に★『数量的経済分析の基礎理論』(日本経済新聞社)★『標本調査法の生成と展開』(北海道大学図書刊行会)★『統計的推論とその応用』(梓出版社)★『社会の変化と統計情報』(共著・北大出版会)★『ジニの統計理論』(共同文化社)など。

金谷誠一〔松越文雄〕(4期) ★『ひと休みの空』思潮社 2520円 2004年3月
〔内容説明〕詩人は、ひとりの夜に空を仰ぐ。亡き妻を、通り過ぎていった懐かしい人々を思い出しながら。生活のなかで詩を書きつづけ、いまは浮き世の孤独と静かに向き合う。自然のリズムが詩を息づかせ、心優しいメロディーを響かせる。

〔経歴〕1947年松前郡福島町生まれ。北海道教育大学函館分校国語科卒業。青森県で中学校と肢体不自由養護学校に勤め、2008年3月退職。青森県八戸市在住。詩誌「現代詩図鑑」等々書き継いでいる。著書に詩集『潮曇りの午後』(私家版)。2013年頃に新詩集刊行予定。

宮下 憲(4期) 『ハードル』 ベース・ボール・マガジン社 1631円 1991年8月
〔内容説明〕ジュニア世代の身長が伸びて、ハードル競技に適した体形になってきている。この時期にハードルを始めようとする初心者のために正しい競走の技術と合理的なトレーニング方法をわかりやすく解説する。

〔経歴〕1947年亀田町桔梗(現・函館市)生まれ。東京教育大学体育学部卒業。東京教育大学大学院体育学研究科修士課程修了。筑波大学人間総合科学研究科教授。著書に『実践陸上競技 トラック編 ハードル』(大修館書店)。1971・72年日本選手権110mハードル優勝。

岡村州博(4期) 『知れば知るほど、女性のからだ まだ欲しくない。でも、いつか出産してみたい。』
婦人生活社 1050円 2001年6月

[内容説明] 女性の一生には思春期から、妊娠・出産、子育ての時期を過ぎて更年期、老年期と、男性とは違う人生の転機があり、多くのイベントがまちかまえている。これをどのように過ごすか、産婦人科医からのメッセージ。

[経歴] 1948年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科教授 主な著書に『周産期のコツと落とし穴』(編集・中山書店)『これならわかる産科学』(編集・南山堂)など。

佐藤 光(5期) ★『カール・ポランニーの社会哲学』 ミネルヴァ書房 5250円 2006年4月

[内容説明] 知の巨人・カール・ポランニー研究の新地平。新資料「ウイークエンド・ノート」の分析なども踏まえて、グローバル資本主義を批判し、成熟した21世紀世界を建設するための社会経済学的原理を明らかにする。

[経歴] 1949年伊達町(現・伊達市)生まれ。東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程中退。大阪市立大学大学院経済学研究科教授。専門は社会経済学、宗教経済学。主な著書に★『リベラリズムの再構築』(書籍工房早山)『生命の産業』(編著・ナカニシヤ出版)『柳田国男の政治経済学 日本保守主義の源流を求めて』(世界思想社)など。

宮崎隆次(5期) 『戦争・復興・発展 昭和政治史における権力と構想』(共著「開発計画・工業化と地方政治」)

東京大学出版会 7740円 2000年4月

[内容説明] 戦前と戦後の対比を通して、昭和の政治をさまざまな角度から再検討し、戦争による巨大な断絶・変化と、その変化の中に貫かれている連続性の両面に注意を払いつつ、昭和政治の全体像を明らかにする。

[経歴] 1948年函館市生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得満期退学。千葉大学法経学部教授。著書に『連合政治 I』(共著・岩波書店)『占領と改革』(共著・岩波書店)『独裁と民主政治の社会的起源 1・2』(共訳・岩波書店)など。

栖原 暁(5期) ★『アジア留学生の壁』 日本放送出版協会 918円 1996年4月

[内容説明] 「留学生 10万人計画」は挫折に終わろうとしている。期待したほど魅力がなかった日本留学。アジア人留学生の率直な声を聞き、日本社会の変わらざる差別意識や閉鎖性を問う。

[経歴] 1948年函館市生まれ。一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科修士課程中退。財団法人アジア学生文化協会留学生相談室長を経て、東京大学留学生センター教授。2011年7月20日逝去。著書に『国際化の中の移民政策の課題』(共著・明石書店)など。

佐藤正知(5期) 『エネルギーと環境』(共著) 三共出版 1575円 1998年4月

[内容説明] 日常生活に深く関わってくる「エネルギーと環境」を考えるうえで欠かせない要因は何か、またそれらの要因の中の互いの重要性について、実例をあげながら説明する。

[経歴] 1949年函館市生まれ。北海道大学理学部化学科卒業。北海道大学大学院理学研究科博士課程修了。九州大学工学部助手を経て、北海道大学大学院工学研究科教授。専門は原子力工学、放射性廃棄物管理。著書に『図解雑学 エネルギー』(ナツメ社)など。

曾我部正博(5期) ★『生物物理学とはなにか 未解決問題への挑戦』(編集) 共立出版 3990円 2003年9月

[内容説明] 遺伝子DNAの発見によって、生命の起源、進化、細胞・個体の機能、疾病の機構など、生命の基本的機能・機構の背後に遺伝子とタンパク質という明瞭な物質の働きがあることが明らかになり、今日の分子生物学の隆盛がある。生物物理学の現在の達成点を位置づけ、先のゴールに近づくために近未来に何をなすべきかを一線の研究者が語る。

[経歴] 1949年上川郡比布町生まれ。大阪大学基礎工学部卒業。大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程中退。名古屋大学大学院医学系研究科教授。著書に★『バイオイメージング』(編集・共立出版)★『イオンチャンネル』(編集・共立出版)★『Towards Molecular Biophysics of Ion Channels』(共著・Elsevier)など。

金井一頼(5期) 『経営戦略 新版 論理性・創造性・社会性の追及』(共著) 有斐閣 1995円 2006年5月

[内容説明] 伝統的な経営戦略で論議される 이슈とともに、ベンチャー企業の成長戦略、地域企業の経営戦略と社会、グローバル戦略なども盛り込み、最新の経営戦略論を展開するテキスト。トピックやケースも刷新した新版。

[経歴]1949年富良野市生まれ。神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。北海道大学大学院経済学研究科教授を経て、大阪大学大学院経済学研究科教授。主な著書に『企業戦略の新しい考え』(産能大学)『ベンチャー企業経営論』(編著・有斐閣)『日本の産業クラスター戦略』(共著・有斐閣)など。

齊藤裕志(5期) ★『江差八勝 資料集』(編集) 頼三樹三郎研究会 2003年9月

[内容説明]幕末、江差に遊んだ頼三樹三郎の事績の研究・論文の集成。江差八勝とは、頼と江差文人7人が、江差の優れた景観8箇所を選定し、それぞれを詩題として作詩したもの。

[経歴]1948年函館市生まれ。岩手医科大学歯学部卒業。さいとう歯科診療室理事長。郷土史家。頼三樹三郎研究会会長。著書に『箱館戦争銘々伝 上』(共著・新人物往来社)★『江差齊藤家の歴史』(頼三樹三郎研究会)。

佐々木伸(5期) ★『ホワイトハウスとメディア』 中央公論社(中公新書) 612円 1992年4月

[内容説明]歴代大統領が安定した政権を維持、運営するためにどのようにメディアを操作してきたのか。またそうした情報操作の中で「インナーサークル」と呼ばれるホワイトハウス取材に関して特権を持つ集団は、政権となれあうことなく監視するという役割を果しているのか。歴代政権、とりわけニクソン、レーガン、ブッシュ政権下で行なわれた捏造と虚偽宣伝をも含む熾烈な選挙戦略を振り返り、行政府と第四の権力の確執の実態を現場から報告。

[経歴]1948年茅部郡森町生まれ。早稲田大学商学部卒業。共同通信社入社。ベイルート・ワシントン・カイロ特派員、編集局長、大阪支社長などを経て、現在、共同通信会館専務取締役。著書に『ホワイトハウス報道官 レーガン・ブッシュ政権とメディア』(共訳・共同通信社)『レバノン戦争 アラファトの90日』(共同通信社)『ペルー日本大使公邸人質事件』(編著・共同通信社)など。

大野 洋(5期) ★『知りながら害をなすな』(共著) ダイヤモンド社 2940円 2004年10月

[内容説明]プロたるものは知りながら害をなすことはない。これからの企業は「良き企業市民」たれ。安全と安心の提供を顧客信頼の核とする21世紀型革新企業の社会的責任(CSR)と事前危機管理の手法を、豊富な事例をもとに学ぶ。

[経歴]1949年札幌市生まれ。一橋大学経済学部卒業。大和証券、モルガン・スタンレー・アセットマネジメント投信執行役員などを経て現在、オーエスプランニング(株)代表、ダイヤモンド社企業情報編集部嘱託。★『マンホールの博物誌』(ダイヤモンド社)の編集・執筆に関わる。

三嶋典東(5期) 『LINE STYLE』 ブルース・インターアクションズ 9000円 2009年4月

[内容説明]「線」表現の可能性を25年にわたり、実作で徹底研究してきたイラストレーターの全貌を大系化する一冊。波、泡、砂、光、風、雨など、自然の風景からインスパイアされた作品&制作ノート/線描論16編。

[経歴]1948年瀬棚郡今金町生まれ。武蔵野美術大学造形学部商業デザイン専攻卒業。在学中より雑誌のデザインや書籍の装帧・装画を手がける。グラフィック・アーティスト。2005年より2009年まで武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授。主な作品集に『雨 RAIN TRAIN』『風 WIND MIND』『光 LIGHT FIGHT』(共に岩崎美術社)『オリーブの天使たち』(河出書房新社)『線の贈りもの』(岩崎美術社)など。

辻 秀明(5期) ★『夢はすぐそこ ママの力でマイホーム』 エル書房(発売・星雲社) 1365円 2009年9月

[内容説明]家は家族が仲良く幸せに暮らすためのもの。四角い箱づくりをはいけません！子育て真っ最中の「夢野一家」のマイホームづくりを描いたマンガを交えながら、家づくりのポイントを分かりやすく解説します。

[経歴]1949年函館市生まれ。東洋大学経済学部卒業。大手建材メーカーや小売店を経て、函館市の辻木材(株)に入社。一級建築施工管理技士。来夢(らいむ)ハウス辻木材(株)社長として、住宅の価格やシステムの解明を行い、良質なローコスト住宅を目指している。カンボジアで学校寄贈などの奉仕活動も行っている。

伊藤恒敏(6期) ★『暴かれた地域医療の実像 銚子市立総合病院衝撃の破綻ドキュメント 病院再建を模索した500日間の真実』 日本医療企画 2000円 2011年4月

[内容説明]銚子市立総合病院は、医師不足など、どの地域・病院にもある問題が積み重なり、からみ合い、2008年9月、破たんという最悪の結果に行き着いた…。銚子市病院事業あり方検討委員会の委員長を務めた著者が、病院破たんの真相と

再生への歩みを綴る。

[経歴]1949年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科教授。専門は免疫学。著書に『**東北大学地域医療シンポジウム講演録 医師不足と地域医療の崩壊** vol.1「今、医学部に何ができるのか」 vol.2「現場からの“提言”医療再生へのビジョン」』(共著・日本医療企画)『**医療白書 2007 年度版**』(共著・日本医療企画)★『**マグネットホスピタル 命を守る病院づくり**』(編著・日本医療企画)★『**地域医療システム構築 東北大学医学部の取り組み**』(共著・東北大学出版会)など。

柿崎 繁(6期) 『**危機における現代経済の諸相**』(編著) 八朔社 5097円 1992年5月

[内容説明]1. 現代資本主義の方法(1. グリーンバグのアメリカ政治経済論 2. 現代資本主義世界編成把握のための基礎視角 3. 危機の時代における経済学 4. 戦後日本資本主義分析の一視角)ほか2篇

[経歴]1949年白糠郡白糠町生まれ。早稲田大学教育学部卒業。法政大学大学院経済学研究科修了。明治大学商学部教授。主な著書に『**現代経済と経済学**』(共著・有斐閣)『**グローバリゼーションと東アジア経済**』(共著・大月書店)など。

中井 洋(6期)・田辺幸雄(6期) ★『**“レセプト審査”の不可思議 EPO 訴訟から学ぶ不当審査との戦い方**』(共著)

医学通信社 1575円 2004年11月

[内容説明]腎性貧血の決定的な治療薬であるエリスロポエチン(EPO)をめぐる訴訟「EPO 訴訟」の記録。座談会も掲載。付属のCD-ROMにはEPO訴訟の全記録(裁判記録)を収録する。

[中井 洋・経歴]1949年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。透析医療に従事。医療法人社団田園腎クリニック院長(川崎市高津区二子)。主な著書に★『**透析患者のからだのしくみ**』(メディカ出版)★『**ケアに生かす「透析学」入門**』(メディカ出版)『**血液透析施行時のトラブルマニュアル**』(共著・医学書院)など。2009年6月に『**透析療法事典 改訂第2版**』(共著・医学書院)刊行予定。

[田辺幸雄・経歴]1950年函館市生まれ。東北大学法学部卒業。江東総合法律事務所弁護士。

大沼邦博(6期) 『**労働団体法 上巻**』(共著) 青林書院 5709円 1992年1月

[内容説明]わが国の労働団体法は、60・70年代以降の大幅な環境要因の変化にさらされて、新規な問題や根本的再検討を必要とする問題等、種々の点で困難な問題に当面している。労働団体法の原理、原則に即しつつ、日本的労使関係の問題の核心に迫る。

[経歴]1949年北見市生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学大学院法学研究科博士課程終了。関西大学法学部・同大学院法学研究科教授。専門は労働法。著書に『**情報ネットワーク時代の法学入門**』(共著・三省堂)『**法、法哲学とナチズム**』(共訳・みすず書房)『**現代日本の公共政策**』(共著・関西大学経済・政治研究所)など。

外山茂樹(6期) ★『**人へ街へ 外山茂樹発言集**』 函館大妻学園 2003年10月

[内容説明]「函館市まちづくりセンター」に関わった時に、地域のまちづくり、人づくりについて、過去10年間にわたって学会・講演会、シンポジウム等で発表・発言したものをまとめた。

[経歴]1949年函館市生まれ。横浜市立大学商学部卒業。一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了。函館大学商学部助教授を経て、函館大妻学園理事長・校長。2009年8月24日逝去。著訳書に『**ケインズ経済学の再評価**』(東洋経済新報社)『**シティバンク**』(日本経済評論社)『**体系経済学辞典**』(共著・東洋経済新報社)など。

林 純一(6期) ★『**ミトコンドリア・ミステリー 驚くべき細胞小器官の働き**』 講談社(ブルーブックス) 1092円 2002年11月

[内容説明]高校の生物の教科書にも登場するミトコンドリア。細胞内で酸素呼吸をして生体エネルギーを供給する、このちっぽけな細胞小器官は、動物の細胞の中では核以外で唯一自分だけのDNAを持ち、父親の遺伝情報はいっさい受け取らない。近年、このミトコンドリアが、癌や生活習慣病、老化に関係していると疑われている。はたして、ミトコンドリアにかけられた重大疑惑は真実なのか。

[経歴]1949年函館市生まれ。東京学芸大学教育学部卒業。東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了。埼玉県立がんセンター研究所主任研究員を経て、現在、筑波大学大学院生命環境科学研究科教授。著書に『**二層膜オルガネラの遺伝学**』(共編・共立出版)『**ゲノムを医学する 阿蘇シンポジウム記録**』(共著・南山堂)など。

紺井博則(6期) 『グローバリゼーションと国際通貨』(共編) 日本経済評論社 4935円 2003年12月
[内容説明]金融に端を発したグローバリゼーション。国際金融はどこへ向かっているのか。ドル・ユーロの国際通貨体制、世界の為替相場制度の分析を通じて、システム変容の全体像に迫る。
[経歴]1949年函館市生まれ。北海道大学経済学部卒業。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。北海道大学経済学部助手を経て、國學院大学経済学部教授。専門は金融論・国際金融論。著書に『現代金融論』(共著・有斐閣)『金融グローバリゼーションの理論』(共著・大月書店)など。

菊池正佳(6期) 『インターネット時代の数量経済分析法 基礎からニューフロンティアまで』(共著)
多賀出版 2940円 1994年4月
[内容説明]数量分析の基礎的な分析法の解説に加えて、近年、実務面での関心が高いファイナンス・マーケット予測や信用リスク評価に関するニューフロンティア的分析法などを解説したテキスト。
[経歴]1950年函館市生まれ。東北大学経済学部卒業。東北大学大学院経済研究科博士課程単位取得退学。東洋大学経済学部准教授。専門は計量経済学、数理統計学専攻。

谷藤悦史(7期) ★『現代メディアと政治 劇場社会のジャーナリズムと政治』 一藝社 1890円 2005年9月
[内容説明]変転する歴史の中で、社会や政治はどのように変化し、メディアやジャーナリズムはどのように寄り添い、何をなしてきたのか。現代ジャーナリズムと政治の共振作用と螺旋過程を解き明かす。様々な雑誌に寄稿した論考をまとめる。
[経歴]1950年釧路市生まれ。紋別郡遠軽町出身。早稲田大学政治経済学部卒業。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。早稲田大学政治経済学術院教授。主な著書に★『リーディングス政治コミュニケーション』(編訳・一藝社)『マス・コミュニケーションの理論』(共訳・敬文堂)『誰が政治家になるのか』(共編・早稲田大学出版部)など。

手塚公登(7期) ★『経営学再入門 再チャレンジ! 基礎から最新の理論まで』(共著 「経営組織論の構成と展開」)
同友館 2730円 2002年2月
[内容説明]経営学の伝統的領域だけでなく、リスクマネジメント、環境経営論など、新しく注目されている領域も網羅し、基礎、理解するコツ、注目されるトピックの三つに分けて説明する。挫折した人と挫折したくない人のための入門書。
[経歴]1950年久遠郡大成町(現・せたな町)生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士課程単位修得。成城大学社会イノベーション学部教授。著書に『企業組織の経営学』(共著・早稲田大学出版部)など。

渡邊博史(7期) ★『私は毎日、天使を見ている。』 窓社 3990円 2007年1月
[内容説明]女性は断言した。「あなた達は天使を見る? 私は毎日天使を見ている」と。中米・エクアドルの首都キトにあるサン・ラザロ精神病院と、隣接するキトのコロニアル地域付近で撮影。見る写真集である以上に「見る人が見られる」写真集。
[経歴]1951年夕張市生まれ。札幌市出身。日本大学芸術学部写真学科卒業。UCLAでMBA修士号を修得。ファインアート写真家としてアメリカ西海岸を中心に仕事をしている。著書に写真集★『FINDINGS』(PHOTOLUCIDA)★『パラダイス・イデオロギー』(窓社)★『ラブ・ポイント』(冬青社)がある。

靄日出朗(7期) ★『原価計算論 改訂版』 創成社 2415円 2001年4月
[内容説明]企業が行う原価計算を計算面だけでなく理論面も重視し解説。計算例では総合原価計算における期末仕掛品の評価の問題を中心に扱う。プロセス原価計算についての章を加えるなどした、97年刊の改訂版。
[経歴]1950年士別市生まれ。明治大学商学部卒業。明治大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学。札幌大学経営学部教授・経営学部長。著書に『簿記の基礎 四訂版』(共著・森山書店)など。

和田拓司〔和田 司〕(8期) ★『変貌する演奏神話 33回転の精神史』 春秋社 2310円 2000年7月
[内容説明]指揮者のフルトベングラーやチェリビダッケ、ピアニストのグールドやホロビッツらの演奏を、今世紀の文化史的な観点から縦横に力強く論じる。客観という迷宮に陥った巨匠の姿に迫るトスカニーニ編は圧巻。吉田秀和以後の音楽批評史

に一石を投じる一冊。

〔経歴〕1951年函館市生まれ。東京外国語大学ロシア語科卒業。早稲田大学大学院文学研究科(ロシア文学)博士課程中退。著書に『「共同幻想論」批判ノート』(私家版)。翻訳家。函館市在住。

金谷武洋(8期) ★『日本語には主語はいらない 百年の誤謬を正す』 講談社 1575円 2002年1月

〔内容説明〕日本語は曖昧な言語ではない。曖昧に見えるのは、英語文法をむりやり当てはめるからだ。海外で長年日本語教育に携わる著者が「主語」信仰を論破し、「日本語」に張られてきたレッテルを覆す、画期的日本語文法論。

〔経歴〕1951年北見市生まれ。東京大学教養学部卒業。モントリオール大学で博士号(言語学)取得。カナダ放送協会国際局などを経て、現在、モントリオール大学東アジア研究所日本語科科长。主な著書に★『英語にも主語はなかった 日本語文法から言語千年史へ』(講談社)★『主語を抹殺した男 評伝三上章』(講談社)★『日本語文法の謎を解く』★『日本語は亡びない』(共に筑摩書房〈ちくま新書〉)★『日本語は敬語があって主語がない 「地上」の視点の日本文化論』(光文社〈光文社新書〉)など。

牧田善二(8期) ★『糖尿病専門医にまかせなさい』 文藝春秋 1300円 2006年3月

〔内容説明〕血糖値にばかり目を奪われていては失明・透析・懐死といった合併症は防げない。専門医が、「病気の正体を知る」「自分のレベル(重症度)を知る」「ぴったり合った治療を選ぶ」の3ステップで、糖尿病と戦う術を紹介。

〔経歴〕1951年利尻島鬼脇(現・利尻富士町)生まれ。苫小牧市出身。北海道大学医学部卒業。久留米大学医学部教授を経て、糖尿病をはじめとする生活習慣病治療のための「AGE内科クリニック」を東京・銀座に開設。豊富な臨床経験と高度な研究実績を生かす専門治療を実践中。糖尿病指導医。著書に★『生涯をかけるなら! 糖尿病専門外来クリニック』(中山書店)。

新谷恭明(8期) ★『学校は軍隊に似ている 学校文化史のささやき』

海鳥社(出版・福岡県人権研究所) 1260円 2006年3月

〔内容説明〕「学校が病んでいる」という問題意識がある。それに対して、本書は学校では役に立たないと思われる歴史という刀で喧嘩を売っているのだ。歴史のまなざしで見れば、学校は長年の生活習慣病を煩っている。その悪しき生活習慣を見直さないと学校の改革なんてできないのだ。ちなみに高校時代の日本史は赤点。しかし、その1969年がこの本を書かせた(本人のコメントより)。

〔経歴〕1951年小樽市生まれ。三笠市育ち。立教大学大学院文学研究科博士課程教育学専攻単位取得退学。九州大学大学院人間環境学研究院教授。著書に『尋常中学校の成立』(九州大学出版会)『大学とはなにか』(海鳥社・共著)など。

太田 清(8期) 『データで読む生活の豊かさ』 東洋経済新報社 2310円 1999年11月

〔内容説明〕世代、所得・資産格差、女性の働きやすさ、国際的視点など、さまざまな角度から、国民生活の豊かさとその多様性・多面性をデータで探る。

〔経歴〕1952年室蘭市生まれ。京都大学経済学部卒業。経済企画庁、内閣府、政策研究大学院教授を経て、日本総合研究所調査部主席研究員。2010年2月21日逝去。主な著書に『景気予測の考え方と実際』(有斐閣)『入門パネルデータによる経済分析』(共著・日本評論社)『女性たちの平成不況 デフレで働き方・暮らしはどう変わったか』(共編・日本経済新聞社)ほか。

小田原修(8期) ★『軌道上実験概論 宇宙・流れ・生命』(監修) 海文堂出版 3990円 2000年4月

〔内容説明〕宇宙真空環境の利用、気泡と液滴の運動、宇宙生物学など、これまで宇宙で行われてきた様々な実験を紹介。96年から開催してきた宇宙飛行士・毛利衛を中心とした「毛利サマースクール」での講義をもとに集成。

〔経歴〕1951年函館市生まれ。東京工業大学工学部卒業。東京工業大学院理工学研究科博士課程修了。通商産業省工業技術院主任研究官、東京工業大学助教授、宇宙開発事業団客員開部員を経て、東京工業大学大学院総合理工学研究科教授。著書に『なるほど宇宙』(監修・宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部)★『ミールメチティ 宇宙紀行』(執筆/監修・NPO 法人プロサップ)など。

岡田信弘(8期) ★『憲法のエチュード』(編著) 八千代出版 2520円 2004年5月

〔内容説明〕憲法に対する理解を容易に深めることができるように工夫したテキスト。大学生として初めて憲法を学ぶ人や、こ

れから憲法を学ぼうとしている一般の人を対象にまとめる。

[経歴]1951年紋別郡遠軽町生まれ。北海道大学法学部卒業。北海道大学大学院法学研究科公法専攻博士課程単位修得退学。明治学院大学法学部教授を経て、北海道大学大学院法学研究科教授。主な著書に★『日本国憲法解釈の再検討』(共著・有斐閣)『政治過程と法』(共著・岩波書店)など。

鎌田広己(8期) ★『太宰治「走れメロス」作品論集』(共著「走れメロス」試論) クレス出版 5040円 2001年4月
[内容説明]「走れメロス」は、発表直後にはそれほど注目されなかったが、同時代人からも好意的に批評された作品だった。作品の研究史概要と鑑賞における重要な論点を眺望する、昭和20年代から現代までの作品論集成。

[経歴]1952年留萌市生まれ。旭川市出身。立命館大学法学部卒業。神戸大学大学院文化学研究科文化構造専攻途中退学。大阪成蹊短期大学教授。著書に『近世と近代の通廊 十九世紀の日本文学』(共著・双文社出版)『淀川の文化と文学』(共著・和泉出版)など。

澤田賢一(8期) 『症状から診る内科疾患』(共編) メジカルビュー社 13650円 2005年4月
[内容説明]患者は「病名」を訴えるのではなく「症状」を訴えるものであるという実情に即し、内科疾患を症状からアプローチするように配列。項目ごとに図や表を多く用いて、エッセンスを凝縮。手元に置いてすぐに参照できる一冊。

[経歴]1952年美唄市生まれ。札幌市出身。北海道大学医学部卒業。秋田大学医学部内科学講座、血液・腎臓内科学分野教授。

瀬戸正昭(8期) ★『詩集 音楽』 林檎屋 1900円 1999年1月
[内容説明]本書は、著者が愛するクラシック音楽を素材にした詩集。全体は器楽編、人物編、鞆(き)旅歌編の3部にわかれ、和語と西欧音楽の渾然とした効果を意図したもの。

[経歴]1951年岩見沢市生まれ。早稲田大学文芸科卒業。札幌市の広告会社「朝日アグリ」代表取締役。詩誌「饗宴」主宰。北海道詩人協会理事。著書に★『野菜小詩集』(ライフ出版社)★『詩集 花の国』(林檎屋)など。

中山卓三(8期) ★『詩集 凍える坩堝』 ライフ出版社 2000円 1993年9月
[内容説明]本書は「創21詩人叢書」の1巻として世に出た。高校時代から書き綴った詩編に加え、上京して鋳造彫刻家として自立後の作品を収録。収録された長編詩「生きる」は、北海道新聞の時評で、批評家・笠井嗣夫氏が「70年代の青春を生きぬいた著者の記念すべき詩」として賛辞を呈した代表作。

[経歴]1951年室蘭市生まれ。工房独活(蛭型鋳造彫刻工房)主宰。「独活」の名は高校時代のガリ版雑誌から命名。

菊地裕太郎(8期) 『不動産紛争解決の手引』(編著) 新日本法規 11550円 2004年年3月
[内容説明]近時ますます多発する不動産に関する紛争について、Q&A形式で一般にも分かりやすく説明した手引書。
[経歴]1951年伊達町(現・伊達市)生まれ。東京大学法学部卒業。菊地綜合法律事務所所長弁護士。著書に『判例・信用供与取引法』(共著・経済法令研究会)『銀行実務判例総覧』(共著・経済法令研究会)『企業責任』(共著・新日本法規)など。

笹浪恒弘(8期) 『条解民事再生法 第2版』(共著) 弘文堂 13650円 2007年12月
[内容説明]民事再生法および民事再生規則の全条文を逐条解説。理論と実務の現状をふまえ、実務上の問題に対する合理的解決のあり方を客観的に示す。新破産法、新会社法などの制定及びそれに伴う関係法令の改正も盛り込んだ第2版。
[経歴]1952年室蘭市生まれ。中央大学法学部卒業。卓照綜合法律事務所弁護士。著書に『新版破産法<新・裁判実務体系28>』(共著・青林書院)など。

水内英充(8期) 『最新不妊治療の142のポイント 体外受精から東洋医学・アロマセラピーまで』
海苑社 1260円 2009年5月
[内容説明]初めての不妊治療から最新の体外受精、顕微授精まで142のポイントで一般向けにわかりやすく解説。
[経歴]1951年旭川市生まれ。札幌医科大学卒業。札幌医科大学大学院修了。同大学産婦人科講師を経て、旭川市にて「みずうち産科婦人科」を継承。現在、札幌医科大学産婦人科の非常勤講師も務める。著書に『取り扱い規約に沿った腫瘍鑑別診断アト

ラス・子宮体部』(共著・文光堂)『図説産婦人科 VIEW 薬物療法 最新の癌化学療法を中心に』(共著・メジカルビュー社)など。

大月康義(8期) ★『語る記憶—解離と語りの文化精神医学』 金剛出版 5040円 2011年8月

[内容説明]収録された論考「精神科臨床とダイアロジズム」「精神科臨床とバフチンの思想」「統合失調症者と自己治癒的コミュニティの形成」は、患者自身が形成する微小文化を意識しつつ患者の経験を聞くという方法、すなわち精神科臨床における対話的民族誌を試みた精神医学の里程標であり、音読のリズムで精読すべき文化精神医学のコスモロジーを指し示す。

[経歴]1952年旭川市生まれ。北海道大学理学部数学科・札幌医科大学卒業。北見赤十字病院などを経て、現在、心療内科「大月クリニック」院長。岩見沢市在住。訳書に『PTSDの医療人類学』(みすず書房)『医療・合理性・経験 バイロン・グッドの人類学講義』(誠信書房)など。

赤松 晃(9期) ★『国際租税原則と日本の国際租税法 国際的事業活動と独立企業原則を中心に』

税務研究会出版局 5250円 2001年11月

[内容説明]1962年に骨格が成立した現行の日本の国際租税法の課税原理を、日本における国際租税原則の受容と発展という観点から再評価し、21世紀の日本の国際租税法の制度設計に新たな視点を提供する。日税研究賞特別賞受賞。

[経歴]1952年釧路市生まれ。南山大学経営学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程修了(法学博士)。国税庁勤務を経て、ホワイト&ケース税理士法人代表社員。一橋大学法科大学院(実践税法)・慶應義塾大学法学部(国際租税法)非常勤講師。移転価格税制、国際M&A、タックス・ヘイブン対策税制、外国税額控除、租税条約等の国際課税問題を専門とする税理士。著書に★『国際課税の実務と理論 グローバル・エコノミーと租税法』(税務研究会出版局)など。

吉田晃敏(9期) ★『格差なき医療 日本中が世界最高水準の治療が受けられるようになる日』

講談社 1575円 2007年4月

[内容説明]旭川発ブロードバンド診療が日本中をつなぐ！日本のどこに住んでいても最高の医療が受けられる、そんな「医療格差のない」社会をめざし遠隔医療の普及に尽力してきた著者が、これまでの軌跡と将来の展望を綴る。

[経歴]1952年札幌市生まれ。旭川医科大学医学部卒業。旭川医科大学眼科講座教授。2007年より旭川医科大学学長。オンデマンド型ネットワーク制御技術に関する研究開発プロジェクトリーダー。糖尿病網膜症等の眼科手術、遠隔医療等の研究に従事する。主な著書に『眼底疾患アトラス』(編著・金原出版)『現代の眼科学 改訂第9版』(共著・金原出版)『網膜・硝子体 すぐ役に立つ眼科診療の知識』(編集・金原出版)など。

斉藤享治(9期) ★『日本の扇状地』 古今書院 2940円 1988年10月

[内容説明]山地と平地の境界域に形成される扇状地はなぜできるのか。そしてどうなっていくのか。これらの問題を中心に、全国の扇状地の地形計測をした著者が、学生を対象に書いたテキスト。

[経歴]1952年函館市生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得。北海学園大学教養部教授を経て、埼玉大学教育学部教授。著書に★『世界の扇状地』(古今書院)など。

丸藤 哲(9期) 『臨床研修 救急一直線』(編集) 南江堂 5985円 2003年5月

[内容説明]救急医療初体験の若い医師にとっての入門書。まず考えることと行うこと、見逃してはいけない疾患・病態、診断のために必要な問診、所見、具体的対処法、してはいけないこと等、救急研修に必要な基本処置をわかりやすく解説。

[経歴]1952年帯広市生まれ。北海道大学医学部卒業。北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野教授。主な著書に『麻酔・救急医療における薬のハンドブック』(共著・南江堂)『DIC治療の新たなストラテジー』(先端医学社)など。

諸戸樹一(9期) ★『ロレンス研究 アロンの杖』(共著「逆転の構図 アロンの杖と聖書の問題」)

朝日出版社 2100円 1988年12月

[内容説明]「愛」の呪縛からの解放を求める男の物語、D.H.ロレンスの中期の問題作『アロンの杖』に多面的に迫る画期的論集。国内外の諸文献を網羅・紹介！

[経歴]1952年北海道生まれ。立命館大学文学部卒業。立命館大学大学院文学研究科修士課程英米文学専攻修了。京都学園

大学法学部教授。専門は 19～20 世紀イギリス文学。著書に『D.H.ロレンス短編全集 3』(共訳・大阪教育図書)『英米短篇選 子供の情景』(共著・山口書店) ☆『不死鳥 上・下・Ⅱ』(D.H.ロレンス著 共訳・山口書店)など。★『ロレンス研究 カンガルー』(共著・朝日出版社)。

吉川和宏(9期) 『憲法(1) 統治機構』 不磨書房 3360円 2004年10月

[内容説明] 憲法はどのように機能し運用されているのか。現状の正確な把握と全体像。使いやすく、わかりやすい「大学全入時代」の専門科目のテキスト。

[経歴] 1953年芦別市生まれ。上智大学法学部卒業。上智大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。東海大学法学部教授。著書に『憲法 第2版』(共著・青林書院)『事例で学ぶ憲法』(共著・青林書院)など。

齊藤朋久[齊藤日軌](9期) ★『日蓮宗の戒壇、その現代的意義』 国書刊行会 2520円 2011年4月

[内容説明] 日蓮大聖人の生命観、日蓮仏教における仏陀と成仏の構造、日蓮宗の戒壇の現代的意義などについて、現代人の知性で納得できる論理性で説明する。

[経歴] 1953年富良野市生まれ。立正大学仏教学部卒業。北海道大学大学院インド哲学科研究生中退。日蓮宗本山妙顯寺(佐野市)、第49世貫首日蓮宗本要寺(富良野市)代務住職。著書に★『石佛庵記Ⅲ』(石乃美社)ほか、論文多数。

松久三四彦(9期) 『民法1 第3版補訂 総則』(共著) 有斐閣 1680円 2007年10月

[内容説明] コンパクトな体裁で民法をひと通り学ぶことができる初学者向けのテキスト。必要かつ十分な情報を網羅し、叙述に濃淡をつけ、重要部分を明示して詳解。法人法制改正に対応した第3版補訂。

[経歴] 1952年河西郡芽室町生まれ。北海道大学法学部卒業。北海道大学大学院法学研究科教授。著書に『民法学と比較法学の諸相』(共著・信山社出版)『日本民法学の形成と課題 下』(共著・有斐閣)など。

黒坂裕之(9期) ★『気候環境誌』 私家版 1999年6月

[内容説明] 研究してきた資源地理学、気候学を生かす方法として、「水」を中心とした地理学を組み立てた、これまでの講義ノートの内容を整理、加筆訂正し、まとめ直したもの。[著者の追究しようとした「水」への想いを一冊の書にするために、友人たちの協力により、死後、奥様が発行したもの。著者が学んだ母校の図書館に寄贈されました]

[経歴] 1952年函館市生まれ。東北大学理学部地理学科卒業。筑波大学大学院地球科学研究科博士課程修了。文教大学教育学部教授。1996年7月逝去。著書に★『生活の中の環境問題』(編著・梓出版社)★『地球環境へのアプローチ』(共著・原書房)★『大気環境測定法』(私家版)など。

山手 章(9期) 『資産自己査定償却と引当 早期是正措置導入後の金融機関経営』

金融財政事情研究会 2520円 1997年9月

[内容説明] 『信用リスク管理』フレームワークの中における『自己査定』の位置付けを明快に提示！ 大蔵省の『資産査定について』通達、日本公認会計士協会の『監査に関する実務指針』における考え方、最新の関連省令・告示・通達(平成9年7月31日付)等を体系的に織り込み、早期是正措置制度導入に向けた経営上の指針を明示。

[経歴] 1952年白老郡白老町生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。公認会計士。「プライスウォーターハウスクーパース」パートナー。あらた監査法人代表社員、業務担当執行役。(株)あらたサステナビリティ認証機構社長。

當作靖彦(10期) 『Yookoso! vols. 1 and 2 Third Edition』

McGraw-Hill Companies \$80.00 March 2007

[内容説明] 世界初の大学レベルのコミュニカティブ・アプローチによる日本語教科書の第3版。実践的能力を身につけることを目標として、最新の第二言語習得理論にもとづく教授アプローチを使っている。ワークブック、CDプログラム、教師用マニュアル、ウェブサイト付。

[経歴]1953年函館市生まれ。カリフォルニア大学サンディエゴ校言語学大学院博士課程修了。言語学博士。カリフォルニア大学サンディエゴ校教授。専門は第二言語習得理論、外国語教授法、言語能力評価理論。著書に『日本語教師の専門能力開発 アメリカの現状と日本への提言』(編著・凡人社)など。

玉山和夫(10期) ★『日米バブルの金融論』 中西出版 1260円 2002年6月

[内容説明]1991年1月に予想した日本発世界デフレの可能性、日本経済のバブル後、1990年代後半のアメリカ株のバブルについて述べる。また、日本株が相対的に売られすぎている可能性について言及する。

[経歴]1953年空知郡奈井江町生まれ。一橋大学経済学部卒業。野村総合研究所入社後、安田火災海上保険などで株式・資産運用に従事。札幌国際大学人文・社会学部教授を経て、北海道情報大学経営情報学部教授。専門は金融論・経済事情。著書に★『投資戦略の基礎』(東洋経済新報社)『10分で分かる、暮らしの経済』(FMノースウェーブ)★『株式投資事始め』(中西出版)など。

山口 卓(10期) ★『非接触ICカードの技術と応用』(共著「RFIDチップ」) シーエムシー出版 3780円 2003年2月

[内容説明]非接触ICカード技術およびその応用に焦点を当てて解説。事業の展開、RFIDのLSIと通信システムなど、非接触ICカードの根幹となる様々な技術をまとめる。

[経歴]1953年横浜市鶴見区生まれ。早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。日本ビクター(株)、シーメンス(株)ICカード部、SMCマイクロシステムズジャパン(株)営業本部などを経て、現在、麹町特許事務所にて勤務。

郡 修徳(10期) ★『わかりやすい輸液製剤』(共編著) 廣川書店 2310円 2009年3月

[内容説明]昨今、薬剤管理指導業務やNSTの進展、在宅医療へのシフトに伴い、薬剤師は高カロリー輸液を中心とした輸液管理に携わることが多くなっている。本書は薬学生を対象とした輸液に関する初めての教科書であり、従来の医学書とは異なり、物理化学、生化学、生理学を基盤として、さらに図や写真を豊富に用いてわかりやすく記述されている。

[経歴]1953年十勝郡浦幌町生まれ。北海道大学薬学部卒業。北海道大学大学院薬学研究科修士課程修了。博士(薬学)。北海道薬科大学薬学部臨床薬学系臨床薬剤学分野教授。研究分野は物理系薬学・医療系薬学。

畑山義人(11期) ★『景観用語事典』(共著) 彰国社 3780円 1998年11月

[内容説明]景観の基本概念から伝統風景・意味論にいたるまで108項目をグループにわけ、景観に関する各分野を体系的に理解できるようにまとめた用語事典。景観や公共空間のデザインを考える上で役立つ。

[経歴]1954年茅部郡森町生まれ。東京理科大学理工学部土木工学科卒業。清水建設にて、主に海洋構造物と橋梁の設計および技術開発業務に従事。景観デザイングループを立ち上げ、橋梁・街路・水道施設など様々なインフラの構造デザインを手掛けてきた。現在、札幌市の(株)ドーコンにて、橋梁と道路の計画・設計と景観デザイン業務全般に携わる。東京工業大学非常勤講師。著者に★『橋の景観デザインを考える』(共著・技報堂出版)★『Bridges』(共編・鹿島出版会)など。

廣川博之(11期) 『眼科臨床メモ 改訂第3版』(共著「黄斑部疾患」) 南江堂 4725円 2006年10月

[内容説明]眼科疾患の診断・治療上の留意点を日常診療の場ですぐ使えるように、一覧表、フローチャート等を用いて簡潔に整理。急激な増加が予想される加齢黄斑変性の新しい治療法を追記するなど、最新の医学知識を反映した改訂第3版。

[経歴]1954年函館市生まれ。旭川医科大学卒業。旭川医科大学附属病院経営企画部教授。専門は医療情報学・眼科学。著書に『網膜・硝子体 すぐ役に立つ眼科診療の知識』(共著・金原出版)『眼科当直医・救急ガイド』(共著・文光社)など。

藤井真吾(11期) 『ギター二重奏のためのサティ作品集』(編集・楽譜) 現代ギター社 1680円 1998年12月

[内容説明]3つのジムノペディ、3つのグノシエンヌ、ジュ・トゥ・ヴー、自動筆記、5つのノクターン。スコアのみ。サティの作品が持つ「静けさ、穏やかさ、誠実さ」がギターにぴったりマッチする。

[経歴]1954年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。10歳よりギターを始める。京都大学農学部卒業。京都大学大学院農学研究科博士課程を中退し、スペインに留学。「ルイス・コーレマン国際音楽コンクール」でコーレマン賞を受賞。国内各地でソロ・リサイタル。

近年は作曲活動を活発に行う。作曲作品(楽譜)に『紺碧の舞曲』『パッサカリア』『天使の協奏曲』『Air』(フォレストヒル出版)などがある。CDに『夜のスケッチ』『黒いデカメロン』『天使の協奏曲』など。

中富清和(12期) ★『無と愛の哲学』 北樹出版 3885円 2002年2月

[内容説明]現代哲学の枯渇、閉塞状況を打開し、新たな哲学の地平を切り開く試み。本来哲学では重要な根本概念である「無」「無我」そして「空」の概念を真っ向から考究する。

[経歴]1955年函館市生まれ。明治大学政治経済学部政治学科卒業。千葉県立八街高等学校教諭。

今野 敏(12期) ★『隠蔽捜査』 新潮社 1680円 2005年9月

[内容説明]警察組織を揺るがす大事件に直面したエリート・キャリア。組織を、そして自らを守るために、下した決断は…。霞ヶ関の本庁舎でキャリアの孤立無援な闘いが始まった。警察小説の新天地を拓く書下ろし長編。この作品で第27回吉川英治文学新人賞を受賞。

[経歴]1955年三笠市生まれ。上智大学文学部新聞学科在学中の78年に『怪物が街にやってくる』で問題小説新人賞を受賞。レコード会社勤務を経て、執筆に専念する。さまざまなタイプのエンターテインメントを手がけるが、警察小説の書き手としての評価も高い。★『果敢 隠蔽捜査2』(新潮社)で第61回日本推理作家協会賞「長編および連作短編部門」・第21回山本周五郎賞ダブル受賞。著書に『蓬萊』(講談社)『アキハバラ』(中央公論新社)★『義珍の拳』(集英社)『転迷 隠蔽捜査4』(新潮社)『同期』『化合』(講談社)など140冊以上。

橋本和仁(12期) ★『光触媒のしくみ』(共著) 日本実業出版社 1890円 2000年10月

[内容説明]酸化チタンをタイルやガラスの上に付け、太陽光や蛍光灯で照らして「汚れず、曇らない」快適表面を実現する光触媒技術。日本発のクリーンな技術で、抗菌や脱臭にも効果のある光触媒技術を分かりやすく解説。

[経歴]1955年空知郡南幌町生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。東京大学大学院工学系研究科教授。主な著書に★『光クリーン革命』(共著・シーエムシー)『光触媒応用技術』(共著・東京図書)『室内対応型光触媒への挑戦』(共著・工業調査会)★『材料概論』(共著・岩波書店)など。

加藤智章(12期) ★『社会保障法 第3版』(共著) 有斐閣 2205円 2007年5月

[内容説明]社会保障の複雑な制度の概要をコンパクトに分かりやすく解説したテキスト。2004年年金制度改正、2005年介護保険制度改正・障害者自立支援法、2006年医療制度改正等に対応した第3版。

[経歴]1956年札幌市生まれ。小樽商科大学商学部卒業。北海道大学大学院法学研究科民事法専攻博士課程単位取得満期退学。新潟大学大学院実務法学研究科教授。主な著書に★『医療保険と年金保険 フランス社会保障制度における自律と平等』(共著・北海道大学図書刊行会)『高齢者の法律相談』(共著・有斐閣)など。

佐藤鉄男(12期) 『ゼミナール破産法』 法学書院 2100円 1998年1月

[内容説明]事例形式の設定を立て、最新の裁判例や話題をもとに工夫された解説を行う破産法のテキスト。

[経歴]1955年常呂郡留辺蕊町(現・北見市)生まれ。中央大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科博士後期課程修了。同志社法学部教授を経て、中央大学法科大学院教授。主な著書に『取締役倒産責任論』(信山社)『民事手続法入門』(共著・有斐閣)など。

野村 伸[のむらしんぼ](12期) 『つるピカハゲ丸ベストセレクション 上・下』 小学館 各1400円 2005年8月

[内容説明]頭髪が3本しかない小学生・ハゲ田ハゲ丸とその一家が、強引かつ本末転倒な様々な節約を試みるという4コマギャグマンガ。漫画雑誌「コロコロコミック」に1985～95年に連載された。コミックス全25巻。第33回小学館漫画賞児童部門受賞作。『つるピカハゲ丸』はテレビ朝日系でアニメ化されている。

[経歴]1955年茅部郡南茅部町(現・函館市)生まれ。立教大学文学部仏文科中退。弘兼憲史のアシスタントをしていた。主な作品に★『とどろけ！一番』(小学館)『ラチェット&クランク』(小学館)★『トップ』(小学館・原作)など。

鈴木基紀(12期) ★『作家の家』(共著) 平凡社(コロナ・ブックス) 1680円 2010年11月

[内容説明]鎌倉の緑の中に佇むドラコニア、下町界限の中世の香りがする家、細部に手仕事が残る昭和初期の京の家…。吉田健一・山口瞳・澁澤龍彦・井上靖ら小説家、アーティスト・写真家・建築家など、今は亡き15名の作家が住んでいた個性溢れる住まいを写真満載で紹介。巻末には建築家・鈴木基紀による実測図面が掲載され、図面と照合しながら、作家の家を楽しむことができる。

[経歴]1955年旭川市生まれ、勇払原野育ち。早稲田大学理工学部建築学科卒業後、南欧・北アフリカ放浪。建築家・鈴木恂に6年間師事し、GAギャラリー、桂離宮作図などを担当、1986年独立し、翌年、設計事務所・(有)空間設計社を設立。独立後の主な仕事としてTWINZ(1990年)、IZVI(1992～2011年)、IZCO(1994年)、UMI(1994年)、ACA(2010年)など。

佐藤貢悦(13期) ★『古代中国天命思想の展開』 学文社 3465円 1996年6月

[内容説明]天命思想に焦点をあてながら、孔子、孟子、荀子、「易伝」の倫理思想を検討することによって、東アジアの地域、歴史のなかで絶大な影響力を発揮してきた儒家思想の歴史的意義を明らかにする。

[経歴]1956年網走郡美幌町生まれ。筑波大学第二群比較文化学類現代思想学卒業。筑波大学大学院哲学・思想研究科倫理学博士課程単位取得満期退学。筑波大学大学院人文社会科学部研究科教授。主な著書に★『人間の文化と宗教』(共著・北樹出版)★『「気」の比較文化 中国・韓国・日本』(共著・昭和堂 ※ハンゲルの翻訳語版も寄贈されました)『中国的なものの見方・考え方』(角川学芸出版)『日中韓日用漢字通用辞典』(共著・勉誠出版)など。

大久保雅一(13期) ★『ピアレビュー 高品質ソフトウェア開発のために』(監訳) 日経BPソフトプレス 3045円 2004年3月

[内容説明]CMM/CMMIレベル3で定められた「ピアレビュー」の実践ガイド。プロジェクトチームの中でピアレビューを効果的に機能させるためのさまざまな方法を、実践的にわかりやすく紹介する。

[経歴]1957年兵庫県姫路市生まれ。東北大学工学部金属工学科卒業。東北大学大学院工学研究科博士課程前期課程修了。工学修士。出光エンジニアリング(株)勤務。鉄鋼技術開発、情報システム構築、品質管理、LSI設計、プラントエンジニアリングなどに従事。第一種情報処理技術者。

池田昌幸(13期) ★『金融経済学の基礎』 朝倉書店 5460円 2000年3月

[内容説明]不確実性下の消費者の資産選択行動と金融資産市場の価格形成および配分機能にかんする金融経済学の主要な結果について解説し、その論理構造を明らかにする。

[経歴]1955年亀田郡七飯町生まれ。東京大学経済学部卒業。マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了。東京大学大学院経済学研究科博士課程中退。一橋大学教授を経て、現在、早稲田大学院ファイナンス研究科教授。著書に『オプション評価と企業金融の理論』(東京大学出版会)『金融工学と証券市場の計量分析 2006』(共編・東洋経済新報社)など。

小助川貞次(13期) 『高山寺古訓点資料 第四』(共著) 東京大学出版会 31500円 2003年8月

[内容説明]洛西梅尾高山寺は、明恵上人芳躅の地として中世以来の名刹である。その経蔵に、上代より近世に亘り累世に収蔵された多数の典籍文書から特に価値ある文献を選び、厳密に翻刻し、研究論文を加える。

[経歴]1956年秋田県本荘市生まれ。北海道大学文学部卒業。北海道大学大学院文学研究科国文学修士課程修了。富山大学人文学部教授。専門は日本語学・訓点語学。著書に『高山寺経蔵典籍文書目録 完結篇』(共著・汲古書院)『国語学論集 築島裕博士傘寿記念』(共著・汲古書院)など。

斎藤智文(13期) ★『働きがいのある会社 日本におけるベスト25』 労務行政 2500円 2008年6月

[内容説明]「働きがいのある会社」とは、「従業員が会社や経営者を信頼でき、自分の仕事に誇りが持て、仲間と連帯感の持てる会社」。本書では、日本における「働きがいのある会社」25社とアメリカ・ヨーロッパ・中南米の「働きがいのある会社」を従業員アンケート比較、企業文化や人事制度の比較などを通して、今後の日本企業の進むべき道を提言している。

[経歴]1957年茅部郡森町生まれ。中央大学商学部経営学科卒業。社団法人日本能率協会コンサルティング、Great Place to Work Institute Japan などを経て、2008年より(株)組織と働きがい研究所所長。著書に★『世界でいちばん会社が嫌いな日本人』(日本経済新聞出版社)『日本人 NIPPON JINJI』(共著・労務行政)。

藤井敬吾(13期) 『羽衣伝説 山入端博の旋律に基づく』(楽譜) 現代ギター社 2100円 2005年1月
[内容説明] 沖縄出身の作曲家・山入端博の旋律を基に繰り広げられる約20分にもわたる大作。沖縄の音階を基に特殊技巧を大胆に取り入れて高い演奏効果があがるこの作品は自身のほか、国内外の多くのギタリストによって愛奏されている。
[経歴] 1956年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。7才よりギターを始める。三重大学農学部卒業。イギリスとスペインに留学。85年、「ラミレス・コンクール」と「オレンセ国際コンクール」に連続して第1位となる。国内外で演奏のほか、作曲活動を活発に行う。作曲作品(楽譜)に『組曲“怒りの日”』『中世組曲 藤井敬吾ギター作品集』(現代ギター社)『マンドリンとギターのためのソナタ』(ドイツ・トレッケル社)『Overture 2010』(ミュージズ音楽館)などがある。CDに『グラナダの花』『地中海協奏曲』(共演)など。

村井康司(14期) ★『ジャズの明日へ コンテンポラリー・ジャズの歴史』 河出書房新社 1890円 2000年5月
[内容説明] 「モダン・ジャズの幸せな時代」崩壊後の40年をスリリングな発見とともに検証し、来たるべき姿を予見する。自在な語り口にのせて切り開く、ジャズ評論の新地平。
[経歴] 1958年函館市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。小学館で国語辞書編集に携わりつつ、穂村弘(歌人)などのエッセイなどの書籍を手がける。ジャズ・ライターとしては『スイングジャーナル』誌レギュラー・ディスクレビューアー。2009年11月刊の『手のひらの味 食べ物の俳句』(編・「めくってびっくり俳句絵本」5巻シリーズのひとつ・岩崎書店)で2010年産経児童出版文化賞・ニッポン放送賞を受賞する。主な著書に『ジャズの明日へ』『ジャズ喫茶に花束を』(共に河出書房新社)『200CD21世紀へのジャズ』(編著・立風書房)『ジャズ“名盤”入門』(共著・宝島社(宝島新書))など。近じか『ARTES JAZZ CD101』(アルテス・パブリッシング)を刊行予定。

嶋島直(14期) 『身体と心性の民俗 (講座日本の民俗学 第2巻)』(共著「病気と死」)
雄山閣 5040円 1998年1月
[内容説明] 民俗社会における身体はどのように文化化・社会化されており、どのような意味づけを行ってきたか。また、そこにはどのような心性が宿っていたかという新しい視点で構想する。
[経歴] 1957年函館市生まれ。筑波大学第一学群人文学類卒業。筑波大学大学院歴史・人類学研究科文化人類学専攻博士課程修了。愛知学院大学文学部教授。専攻は日本民俗学・文化人類学。著書に『民族の移動と文化の動態 中国周縁地域の歴史と現在』(共著・風響社)『台湾原住民研究 第8号』(共著・風響社)など。

津金孝行(14期) 『文科系のための情報科学入門』 高文堂出版社 2243円 1997年4月
[内容説明] 大学の教養課程、特に文化系学部の学生及び一般ビジネスマンに向けて書かれた、情報科学のテキスト。情報機器の仕組みではなく、どのような種類のものがあってどのように使えるかにテーマを絞っている。
[経歴] 1957年函館市生まれ。東京電機大学工学部卒業。東京電機大学大学院理工学研究科修士課程修了。日本電気(株)を経て、函館大学商学部准教授。著書に『情報科学入門』(共著・高文堂出版社)。

青山英樹(14期) 『機械設計学』(共著) 朝倉書店 3570円 1998年12月
[内容説明] 近年、工学教育のカリキュラムの中心に捉える試みがなされているエンジニアリングデザイン(工学設計)を思い描きつつ、取りまとめた機械設計学のテキスト。
[経歴] 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授。主な著書に『プラスチックの射出成形用金型』(共著・〈財〉素形材センター)『HCDハンドブック 人間中心設計』(共著・丸善)『機械加工ハンドブック』(共著・朝倉書店)など。

佐々木亘(14期) 『トマス・アキナスの人間論 個としての人間の超越性』 知泉書館 5040円 2005年1月
[内容説明] 人間の意味が多様に文飾化し、人間存在の基盤が揺らぎはじめた今日状況の中で、人間本性の意味を根底から問いかけた書。
[経歴] 1957年帯広市生まれ。南山大学文学部神学科卒業。南山大学文学研究科博士(神学)課程単位取得満期退学。文学博士。鹿児島純心女子短期大学生活学科教授。専攻は哲学・経済学。著書に『食と心の教育の関連 健康に及ぼす食物栄養学的・心理学的・哲学的影響』(鹿児島純心女子短期大学)『共同体と共同善 トマス・アキナスの共同体論研究』(知泉書館)。

辻 一郎(14 期) ★『のぼそう健康寿命』 岩波書店(岩波アクティブ新書) 735 円 2004 年 2 月

[内容説明]老化のスピードは遅らせられる！ 健康なお年寄りの生活ぶりから、読書やボランティア活動への参加、筋トレなどの身体運動が老化のスピードに大きな影響を与えることがわかった。要介護の原因となる疾患や事故を防ぐ方法や痴呆予防、今からでも始められる運動能力改善のトレーニングについて具体的に紹介する。

[経歴]1957 年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科教授。専門は公衆衛生学・健康科学。高齢者の健康増進と疾病(障害)予防に向けたプログラムを地域で展開中。主な著書に★『健康寿命』(麦秋社)★『実践事例で学ぶ介護予防ケアマネジメントガイドブック』(監修・中央法規出版)★『介護予防のねらいと戦略』(社会保険研究所)など。

小笠原博宣(14 期) 『眼科学大系 1』(共著 「眼科学診断学・眼機能・眼底の血液測定」) 中山書店 1993 年 1 月

[内容説明]眼科診断学に関する専門書。眼球内の血液循環を知ることで、患者管理の 1 指標とするための、種々の測定方法について概説した。

[経歴]1957 年茅郡森町生まれ。旭川医科大学医学部卒業。旭川医科大学医学部附属病院眼科講師を経て、札幌市西区に医療法人ことに眼科クリニック開院。主な著書に『網膜・硝子体 すぐ役に立つ眼科診療の知識』(共著・金原出版)など。

中島克幸(14 期) ★『上州を行くー群馬のドラマを訪ねてー』 あさを社 1260 円 2011 年 3 月

[内容説明]転勤してきた群馬県で、この 10 年間に行く先々で出会った豊かな自然、温泉、地酒、日本の産業近代化を牽引した富岡製糸工場、埋もれた人物、歴史ロマンなど、群馬にまつわる事象を 50 章にわたり綴っている。“未知の土地で生活”してこそ、地元の人が気づいていない幾つもの発見があるということ、“住めば都”を実感させてくるエッセイ集。

[経歴]1958 年瀬棚郡今金町生まれ。立命館大学法学部卒業。朝日新聞社入社。1997 年に群馬県太田市に転勤し、住んで暮らしてみると群馬県が気に入る、1999 年から高崎市在住。現在は朝日新聞東京本社編集局に勤務のため、単身赴任しているが、休みの日だけ帰宅する生活をし、群馬各地を歩いている。

小川和美(16 期) ★『天下太平洋物語』 旅行人 1680 円 1997 年 6 月

[内容説明]仕事を辞めて北海道を離れ、太平洋の島々を合計 2 年半ほど旅行した著者と、島の人々との交遊を描いた愉快的な旅行記。船に乗って離島を巡り、島の娘にちょっかいをかけ、調子に乗って酔いつぶれる日々を軽快な筆致で描く傑作。

[経歴]1959 年東京都生まれ。京都大学経済学部卒業。HBC に就職し、ラジオ番組制作に携わった後退職、太平洋の島々を長期旅行する。その後は“南洋紀行家”を自称しつつ、日本と太平洋諸島の間のような仕事に従事。在フィジー日本大使館専門調査員、日本女子大学講師、ツバル政府開発政策顧問などを歴任する。現在は(社)太平洋諸島地域研究所主任研究員。「太平洋島嶼国議員は、拉致問題の決議案にどう対応したか？」などの論文がある。

井元秀剛(17 期) ★『余裕！のフランス語』 白水社 1785 円 2004 年 3 月

[内容説明]この教科書は、専門的にフランス語を必要とするわけではない学生を対象に、基礎だけを確実に学ばせることを目的に編集されました。一週間に一度の授業で、前期 13 回、後期 13 回で完結するようにしました。

[経歴]1960 年福岡市生まれ。東京大学教養学部卒業。東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。大阪大学大学院言語文化研究科准教授。主な著書に『言語文化概論』(共著・大阪大学出版会)『テキストの生理学』(共著・朝日出版社)『言語と文化の展望』(共著・英宝社)など。

加藤久典(18 期) ★『健康栄養学 健康科学としての栄養生理化学』(共編著) 共立出版 2940 円 2005 年 4 月

[内容紹介]「食と健康」をテーマに、生活習慣病発症の分子メカニズム、個体・細胞レベルでの栄養素の代謝、食品の機能性の裏付けなどについて、基礎から最新の研究知見を含めて紹介。

[経歴]1961 年士別市生まれ。東京大学農学部卒業。東京大学大学院農学系研究科農芸化学博士課程中退。東京大学大学院農学生命科学研究科教授。専門は分子栄養学。主な著書に『アミノ酸の機能特性』(共著・建帛社)『分子栄養学 第 2 版』(共著・光生館)など。

加藤公堂(18期) ★『予備校論 学力崩壊にライダーキック!』 文芸社 1365円 2002年12月

[内容説明] デッカイ夢が未来を決める! 予備校で伸びる者、伸びない者、これははっきりしている。希望を持ち続けられるか、持ち続けられないかである。予備校ベテラン講師が明かす、予備校選びのポイント、楽しい予備校ライフのすすめ。

[経歴] 1960年愛媛県松山市生まれ。北九州市立大学法学部卒業。愛媛大学大学院中国政治学専攻修士課程修了。中国語ボランティア通訳。代々木ゼミナール現代文講師として10年を経て、現在は和歌山信愛短期大学付属高校国語科教師。

福井康佐(18期) ★『国民投票制』 信山社出版 8925円 2007年3月

[内容説明] 欧米の国民投票の運用状況を分析・考察し、国民投票制度の一般的理論を構築した上で、日本での国民投票の運用条件を検討。理念ないしイデオロギーとしての人民主権ではなく、現実の政治の実態としての人民主権の姿を示す。

[経歴] 1961年青森県生まれ。中央大学法学部卒業。学習院大学大学院法学研究科法律学専攻博士後期課程修了。川崎市市民オンブズマン事務局専門調査員、東京国税不服審判所国税副審判官を経て、現在は参議院憲法調査会客員調査員。成蹊大学・学習院女子大学等非常勤講師。

湯浅哲也(18期) 『ME用語事典』(共著) コロナ社 23100円 1999年10月

[内容説明] 医学・工学の両分野にまたがる境界領域である医用工学。研究者が使用することを想定して、医用工学において広く用いられている用語約7000語を各領域の専門家が解説する。

[経歴] 1961年札幌市生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。山形大学大学院理工学研究科教授。専門は画像処理・信号処理。著書に『わかる画像処理』(共著・日新出版)。

有馬善一(18期) 『哲学に何を問うべきか』(共著「世界の知-理念・地平・開け-」)

晃洋書房 3990円 2005年10月

[内容説明] 21世紀の世界にいかなる将来をもたらすべきかという根本思想が欠如した「哲学の現在」を打破すべく、人間の思想が始まって以来の歴史と対話しつつ、哲学に創造力を取り戻すために「哲学は何を問うべきか」を問う。

[経歴] 1962年余市郡余市町生まれ。京都大学文学部卒業。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。摂南大学経営情報学部准教授。専門は哲学・倫理学。著書に『人間環境の創造 持続可能な文明のために 第2版』(共著・勁草書房)など。

島山直毅(18期) ★『この一秒 極限を超えた十人の物語』 日本放送出版協会 1575円 2000年10月

[内容説明] それまでの人生を一変させる「日常一大事」。その時人間は何を考えるのか。市井の人々を襲ったある出来事を通し、彼らの激しい心の振幅を活写する。「浪花デン助ブルース」など全10編を収録する。

[経歴] 1961年函館市生まれ。学習院大学法学部卒業。ライブハウス店長をはじめ多数の職を経てフリーライターとなる。「Number」 「別冊島島」 「現代」 「NHK 将棋講座」などでギャングブルはもちろん、将棋、サッカーなどと幅広く活躍。著書に『競馬最弱の法則』(共著・あすか書房)など。

山本 仁(18期) 『世界の歯科事情と安心ガイド 海外派遣労働者のために』(共著) 社団法人日本歯科医師会 2002年7月

[内容説明] 海外における邦人向けの歯科保健医療情報がほとんどない状況に鑑み、ひとつの道標として出国先での歯科の困りごとに対応できるように対処するべきかについて、日本歯科医師会が地球的な視野で取り組んだ小冊子。

[経歴] 1958年函館市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。日本歯科大学卒業。東京医科歯科大学大学院博士課程修了。包括診療歯科学・総合診療歯科学非常勤講師を経て、医療法人社団仁尚会理事。

杉山伸朗(18期) 『組織の「伝達力」を高める 伝える能力の基本』 ノラ・コミュニケーションズ 2100円 2008年10月

[内容説明] 組織に「伝達力が高いビジネスパーソン」が多く存在すれば、組織の対話力は高まり、組織連携力も高まる。伝達力を若年期から鍛えるために、伝達力を構成する要素である「観る」「聴く」「訊く」「書く」「話す」「論理的思考力」の6つのスキルについて重要性と基本トレーニング法を解説する。

[経歴]1962年帯広市生まれ。中央大学理工学部卒業。ビジネス・ブレイクスルー大学院大学(Kenichi Ohmae Graduate school of Business)修了(MBA)。SEを経て、経営コンサルタント杉山伸朗事務所を開業。経営コンサルティング、企業人材教育を展開。著書に『ワークフローの実際』(共著・日科技連出版社)。

三浦雅樹(19期) ★『中国名言名句の辞典』(共著) 小学館 5250円 1989年1月

[内容説明]古代から現代にわたる中国の味わい深い名言名句、ことわざ約6000を広範な文献から選び出し、現代の感覚でわかりやすく解説。「論語」「孟子」「老子」「詩経」「史記」などの古典をはじめ、現代では魯迅、孫文、老舍、毛沢東、周恩来、郭沫若などの作品を渉猟して精選収録。

[経歴]1962年函館市生まれ。上智大学文学部卒業。上智大学文学研究科国文学博士課程単位取得満期退学。和歌山信愛女子短期大学生活文化学科准教授。著書に『漢字典』(共著・旺文社)など。

石子智士(19期) ★『網膜・硝子体 すぐ役に立つ眼科診療の知識』(共著) 金原出版 10290円 2005年9月

[内容説明]網膜硝子体疾患の診療の基礎を学ぶ眼科研修医のための入門書。問診から、診断、治療、さらには術前術後の指示・管理まで詳細に解説した虎の巻。[この本は編集に9期・吉田晃敏、共著者に11期・廣川博之、14期・小笠原博宣などがおり、複数の旭川医科大学の函館ラ・サール同窓生が関わっています]

[経歴]1962年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。旭川医科大学卒業。旭川医科大学大学院修了。旭川医科大学准教授。著書に『コンパクト眼科学15』(共著・金原出版)『眼科診療メモ』(共著・南江堂)『眼科診療プラクティス67 変性近視』(文光堂)ほか。

野村修也(19期) 『ケースブック会社法 第3版』(共著) 弘文堂 4095円 2008年3月

[内容説明]新会社法に対応した法科大学院用テキスト。新会社法の下でなお重要性を有すると思われる判例、および実務における運用を中心に、数多くの先例を選び、正確に理解するための課題と応用力を高めるための課題を設ける。

[経歴]1962年函館市生まれ。中央大学法学部卒業。中央大学大学院法学研究科博士後期課程中退。中央大学法科大学院教授。金融庁や総務庁の法令等遵守調査室長。主な著書に『コンプライアンスのための金融取引ルールブック 第11版』(共著・銀行研修社)『損害保険論』(共編著・有斐閣)『商法』(共著・税務経理協会)など。

乗田浩隆(19期) 『金融機関のオペレーショナルリスク・マネジメント』(共著) ファーストプレス 1890円 2005年12月

[内容説明]オペレーショナルリスク・マネジメントをBPR、ABCなど他の経営手法と融合することで、費用対効果を最大にし、競争優位を確立する方法論を学び、その導入から定着までと進化段階の向上を、経験に基づいて解き明かす。

[経歴]1963年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。アメリカ・コロンビア大学経営大学院修了。経営学修士(MBA)。銀行や証券会社で市場・信用リスク管理やORM規定、金融検査マニュアル策定などのコンサルティングに従事。中央三井信託銀行、監査法人トーマツを経て、グローバンス(株)常務取締役ほか。

野寺博文(19期) 『主の民か、国の民か』(共著) いのちのことば社 1260円 2006年8月

[内容説明]日本による朝鮮半島の植民地支配に於ける神社参拝強制の問題を取り上げ、それに抵抗して殉教した朱基徹牧師の抵抗権思想について考察する。

[経歴]1962年留萌市生まれ。新潟大学経済学部卒業。東京基督神学校卒業。韓国・高神大学大学院博士課程(教会史専攻)修了。日本同盟基督教団赤羽聖書教会牧師。著書に★『韓国強制合併から100年』(共著・いのちのことば社)がある。

辻 琢也(19期) 『自立と協働によるまちづくり読本 自治「再」発見』(共著) ぎょうせい 2000円 2004年3月

[内容説明]人口減少と低経済成長のなか、「地域の自治」をどう育て上げ、自主自立のまちづくりをどのように行っていけばよいか。地域づくりに関するさまざまな分野の理論及び実践についてわかりやすく明確に解説。

[経歴]1962年函館市生まれ。東京大学教養学部第3相関社会科学分科卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士(学術)。政策研究大学院大学教授等を経て、一橋大学大学院法学研究科教授。主な著書に『自治体のマネジメント改革』(共著・ぎょうせい)『地方制度改革』(共著・ぎょうせい)『あたらしい自治体の設計 第1巻 分権と自治のデザイン』(共

著・有斐閣)など。

高橋秀宗(19期) 『感染症の事典』(共著) 朝倉書店 14700円 2004年12月

[内容説明]代表的な感染症について、概要、病原体、疫学、臨床所見、病原体診断などを図・表、電子顕微鏡写真を用いてわかりやすく解説した事典。感染症に関する基礎研究の中心的存在である国立感染症研究所学友会が編集。

[経歴]1962年空知郡北村(現・岩見沢市)生まれ。北海道大学医学部卒業。厚生労働省国立感染症研究所病態病理室長。研究テーマはHIV-1の複製機構、プリオン病の早期診断。研究分野はウイルス学。

横山蔵利(20期) 『ルポ 内部告発 なぜ組織は間違うのか』(共著) 朝日新聞出版(朝日新書) 798円 2008年9月

[内容説明]社会正義か、組織への忠誠か。社会は内部告発を受容する方向に動いているのに、組織の側はいまだに旧来の発想から抜け出せない。「正しい組織」を実現する処方箋とは。内部告発した人、された組織取材したルポルタージュ。

[経歴]1962年函館市生まれ。19期で入学、アメリカ留学のため、20期で卒業。早稲田大学社会科学部卒業。朝日新聞記者。東京社会部、北海道報道部などを経て、現在、釧路支局長。

上田正和(20期) ★『演習憲法人権 学部試験/各種国家試験/公務員試験 問題研究と答案例』(編著)

新世社(発売・サイエンス社) 2625円 1996年4月

[内容説明]例題と演習問題は、全国の主要大学の過去20年間における学期末試験問題約2000問と、司法試験、弁理士試験、不動産鑑定士試験、公務員試験等の過去問題をベースに、基本的なもののみを選択、収録した。

[経歴]1963年京都市生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻前期博士課程修了。上田法律事務所代表弁護士。大宮法科大学院大学教授。著書に『民事裁判 証拠収集・立証の実務』(共著・新日本法規出版)『実務法律講義⑫ 実務医事法講義』(共著・民事法研究会)など。

藤田 衛(20期) ★『生き残る病院建築 その設計手法』(共著) 理工図書 3990円 2002年12月

[内容説明]病院淘汰の時代といわれる現代。病院建築設計の根幹となる面積規模の算定方法を中心とした、「生き残る病院建築」を提案するための実務的なノウハウと、その根底にある設計思想やコンセプトをわかりやすく解説する。

[経歴]1963年枝幸郡枝幸町生まれ。北海道大学工学部建築学科卒業。北海道大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了。(株)山下設計勤務。一級建築士・医業経営コンサルタント。長岡赤十字病院(日本医療福祉建築賞1999年受賞)などの設計のほか、病院等の企画提案、医療経営セミナーの講師も務める。

藤原誉康(20期) ★『紛争処理会計』(共著) 税務経理協会 3465円 2009年9月

[内容説明]紛争処理会計の主要領域である株価鑑定、計算鑑定のほか、職務発明の対価の算定や、会社更生・民事再生における財産評定などを解説。米国の紛争処理会計の実務についても紹介する。

[経歴]1963年網走市生まれ。早稲田大学商学部卒業。早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了。公認会計士・税理士。外資系監査法人、コンサルティング会社を経て、現在、網走市で藤原会計事務所主宰。著書に『知的資産経営-戦略・情報・侵害・評価・税務』(共著・同文館出版)『知的財産紛争の損害額計算実務』(執筆 日本公認会計士協会編・第一法規)『法人税別表・決算書・人事資料等による企業改善・税務強化ガイドブック』(共著・清文社)。

野澤 康(21期) ★『まちづくりデザインのプロセス』(共著) 日本建築学会(発売・丸善) 1995円 2004年12月

[内容説明]市民が主体的にまちづくりを進めるプロセスを想定して、実例を紹介しながら、調査から実現のシナリオづくりや空間づくりまでを一貫して解説する。初学者や行政職員、コンサルタントはもちろん、自らのまちでまちづくりをしようとする一般の市民にも使える一冊。

[経歴]1964年函館市生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。工学院大学工学部建築都市デザイン学科教授。主な著書に★『まちづくりの科学』(共著・鹿島出版会)★『住環境 評価方法と理

論』(共著・東京大学出版会)★『**景観法と景観まちづくり**』(共著・学芸出版社)★『**都市のシステムと経営**』(共著・岩波書店)★『**建築ガイド・都市ガイド東京圏**』(共著・彰国社)★『**事例で読む現代集合住宅のデザイン**』(共著・彰国社)など。

齋藤訓之(21期) ★『**農業成功マニュアル「農家になる！」夢を現実に**』 翔泳社 1995円 2008年12月
[内容説明]農業のはじめ方を教えます！新たに農業を始める人のために、ビジネスとして成功するノウハウを解説し、スタイル別就農までのフローや、成功例・失敗例を紹介。農業の楽しさ、苦しさを心得として丁寧に伝えます。
[経歴]1964年函館市生まれ。中央大学文学部卒業。柴田書店「月刊食堂」編集者、日経BP社「日経レストラン」記者、農業技術通信社「農業経営者」副編集長を経て、現在、フリーランス。外食、食品、農業の分野を中心に、ビジネス誌などに記事を執筆。著書に『**創発するマーケティング**』(共著・日経BP企画)★『**外食業界のしくみ 図解雑学**』(ナツメ社)★『**農業をはじめたい人の本**』(監修・成美堂出版)。

豊福晋平(23期) 『**ITと文明 サルからユビキタス社会へ**』(共著「コミュニティを基盤とした教育情報化の展望」)
NTT出版 2730円 2004年9月
[内容説明]文明と情報の関わり、ヒトの進化とIT化など、具体的な事例に触れながら、社会生活の抱える実際の課題と解決案を提示。「HIKARI社会における生活空間と自己成長」探求グループの探求活動成果をまとめる。
[経歴]1967年函館市生まれ。横浜国立大学教育学部卒業。東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程中退。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授。専門領域は学校教育心理学・教育工学・学校経営・教育情報化。95年以降、教育情報発信サイト「キッズページ」(現 i-learn.jp)運営。著書に『**IT なにが問題か**』(共著・岩波書店)など。

高田 洋(24期) ★『**社会の見方・測り方 計量社会学への招待**』(共編・共著) 勁草書房 3570円 2006年7月
[内容説明]データの構造や社会現象の原因を明らかにする、社会構造の様態の記述、もっとふさわしいモデルを選ぶ…。社会学は社会の手ざわり、肌ざわりを確かめるためのツールだ。「世の中のしくみをとらえる」ための社会学入門。
[経歴]1967年檜山郡江差町生まれ。北海道大学文学部卒業。大阪大学大学院人間科学研究科社会学専攻博士後期課程修了。東京都立大学助手を経て、札幌学院大学社会情報学部准教授。著書に★『**SPSSによる多変量解析**』(共編・オーム社)★『**社会をくモデル)でみる！ 数理社会学への招待**』(共著・勁草書房)など。

石岡克俊(27期) 『**著作権流通と独占禁止法**』 慶應義塾大学出版会 3360円 2001年11月
[内容説明]個人の精神活動の成果たる情報「コト」が、有体物たる「モノ」に固定され、それが商品として流通し取引される際に生ずる問題を、法的な観点から考察。著作物再販制度をめぐる議論の顛末と今後の展望を語る。
[経歴]1970年芦別市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。慶應義塾大学産業研究所准教授。主な著書に『**市民カレッジ・知っておきたい市民社会の法**』(共著・不磨書房)『**著作権の法と経済学**』(共著・勁草書房)『**白書出版産業 データとチャートで読む日本の出版**』(文化通信社)など。

斉藤匡康(27期) 『**ないている町の鴉**』 フリープレス(発売・星雲社) 1470円 1999年7月
[内容説明]國學院「渋谷文学」同人だった1990年から、駆け出しの編集者時代の1999年までに綴った詩をまとめる。
[経歴]1970年深川市生まれ。國學院大學文学部卒業。現在は筑摩書房校閲室勤務。

船越 洋(29期) 『**増殖因子と受容体**』(共訳) メディカル・サイエンス・インターナショナル 4410円 2000年4月
[内容説明]個々の具体的な増殖因子と受容体研究法の最新の技術を網羅し、分かりやすい解説と、すぐに実験を始められる詳細な73のプロトコールで構成する。
[経歴]1972年美唄市生まれ。旭川医科大学卒業。旭川医科大学大学院医学博士課程修了。大阪大学大学院医学系研究科准教授。専門は再生医学。

本城慎之介(29期) ★『**本音の履歴書**』(共著) アメーバブックス(発売・幻冬舎) 1365円 2007年4月

[内容説明]なぜ働くのか？ 人生ってなんだ？ MBA 留学を経て起業した経営者やベンチャー起業家など、多彩な経歴のリーダー16人が本音で語る、マジな仕事論の数々。ウェブサイト『GREE キャリア』連載に加筆・修正して単行本化。

[経歴]1972年白糠郡音別町(現・釧路市)生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業。慶應義塾大学大学院総合政策メディア研究科修了。(株)音別代表、元(株)楽天取締役副社長、元横浜市立東山田中学校校長。

戸次べつき大介(29期) 『日本語文法の形式理論 活用体系・統語構造・意味合成』くろしお出版 4410円 2010年3月
[内容説明]組み合わせ範疇文法と高階動的論理に基づき、日本語の言語現象に対する「網羅性」、計算機で扱うのに十分な「形式的厳密性」、活用体系・統語構造・意味合成にわたる「理論的統合性」を同時に満たす日本語文法を構築・提示する試み。

[経歴]1973年函館市生まれ。東京大学理学部情報科学科卒業。東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。理学博士。科学技術振興事業団(現在の科学技術振興機構)個人研究推進事業さきがけ研究21「情報と知」領域専任研究員、東京大学21世紀COE「心とことば—進化認知科学的展開」研究拠点形成特任研究員を経て、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授。専門は数理言語学、理論言語学、計算言語学。

佐藤大介(29期) 『楽器でJAZZを楽しもう』(共著) 河出書房新社 1680円 2002年8月

[内容説明]レコードやCD、オーディオも満足のいくものをそろえたというジャズ・ファンにさらに悔いのない人生を送ってもらおうと「楽器のすすめ」を説く。楽器でJAZZをやる楽しさを本音で綴ったスーパーエッセイ。

[経歴]1972年上川郡鷹栖町生まれ。明治学院大法学部卒業。高校、大学ではジャズ研に所属、クラリネットとアルトサックスを吹く。毎日新聞社記者を経て、共同通信社記者。2009年よりソウル特派員。各雑誌に記事を寄稿するほか、「スイングジャーナル」(現在休刊)などの音楽雑誌にジャズ評論も執筆する。

石川知裕(30期) 『悪党 小沢一郎に仕えて』朝日新聞出版 1680円 2011年7月

[内容説明]その思想、選挙戦術、日常の素顔から、知られざる弱点まで一。政治資金規正法違反容疑で逮捕・起訴された元秘書が覚悟を込めて明かす、誰も書けなかった小沢一郎論。「擁護」でも「排除」でもなく、等身大の政治家像を描き出す。

[経歴]1973年足寄郡足寄町生まれ。早稲田大学商学部卒業。1996年2月から2005年7月まで小沢一郎秘書。同年、衆院選で北海道11区から民主党公認で立候補して、中川昭一氏らを相手に落選、2007年3月に繰り上げ初当選。2009年再選。2010年1月、政治資金規正法違反容疑で逮捕、同年2月に起訴、民主党離党。現在、公判中。無所属の立場で国会活動に奔走している。

角幡唯介(32期) ★『空白の五マイル チベット、世界最大のツアンポー渓谷に挑む』集英社 1680円 2010年11月

[内容説明]世界最大の規模を誇るチベットのツアンポー川渓谷。その空白地帯を埋めんとする古今の探検家達の旅を追い、やがて筆者も谷を踏破。もう一度訪れたかった場所に仕事をやめて、7年後の2009年、再び挑むが、想定外の出来事の連続で、それは脱出行と化し……。命をかけた単独行の記録。第8回開高健ノンフィクション賞受賞作品。この作品で第42回大宅壮一ノンフィクション賞・第1回梅棹忠夫・山と探検文学賞受賞。

[経歴]1976年芦別市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。探検部OB。2002年12月から2カ月にわたって、長らく謎の川とされてきた東チベットのヤル・ツアンポー川峡谷の未踏査部を単独で探検し、ほぼ全容を解明。2003年、朝日新聞社入社。富山支局に3年間、北埼玉支局に2年間在籍後、2008年6月に退社。現在はフリーライター。2008年「イエティ」探索隊に参加。2009年、ツアンポー川渓谷単独行。著書に★『川の吐息、海のため息 ルポ黒部川排砂』(桂書房)★『雪男は向こうからやって来た』(集英社)がある。

平山 尚(34期) ★『ゲームプログラマになる前に覚えておきたい技術』秀和システム 4725円 2008年11月

[内容説明]3Dゲームの作り方を解説する、「セガ」の新人教育カリキュラムから生まれたゲームプログラミングのテキスト。衝突検出手法といった「売り物を作るために必要な知識」なども収録する。

[経歴]1977年札幌市生まれ。京都大学工学部卒業。京都大学大学院工学研究科修了。研究テーマは遺伝子研究。(株)セガ勤務。『電脳戦機バーチャロンマーズ』(PS2)及び『パワースマッシュ3』(アーケード、PS3)の開発に参加する。

〔付記〕先生たちの著書

※著者の()内は担当教科・在籍期間・その後の勤務先等です。

谷口 巖(国語 1960～1966年 愛知教育大学・岐阜女子大学 愛知県瀬戸市在住)

★『吾輩は猫である』を読む』 近代文芸社 1997年1月

[内容説明]『猫』には読むたびごとに発見がある。漱石名作再読再々読の楽しみ。

遊佐悦大(社会 1960～1994年 函館市花園町在住)

『父親だけにできること』 女子パウロ修道院 650円 1978年3月

[内容説明]1978年当時、アメリカでも父親の権威回復が課題で、vanishing fatherという言葉が流行語になっていた時、日本の父親に自信を与えるために書かれたもの。

[著書]『遊佐先生の教育講座1～4』(ワールド・ナショナル)

柳瀬喜代志(国語 1961～1963年 早稲田大学 物故)

★『日中古典文学論考』 汲古書院 21000円 1999年7月

[内容説明]儒教や道家の思想研究を出発点とし、中国六朝・唐の古小説の研究を推進し、日本文学における漢籍の受容の問題にも取り組んだ著者の、六朝志怪小説源流考、平安・鎌倉期の学問と文学に関する論文、合わせて50編を収める。

[著書]『李嶠百二十詠索引』(東方書店)『将門記・陸奥話記・保元物語・平治物語(新編日本文学全集41)』(校注、訳・小学館)

『国語教育史に学ぶ』(共著・学文社)ほか。

吉岡正徹(英語 1962～1968年 函館工業高等専門学校 札幌市在住)

★『フランス語ことわざ研究』(訳) 駿河台出版社 3675円 2005年4月

[内容説明]19世紀フランスのことわざ研究家P.M.キタールの代表的著作の翻訳。ことわざを愛してやまぬ著者が熱烈に語り継ぐ、ことわざ擁護とことわざ賛歌の書。数々の珍しいことわざを繰り出して、興味深く語られる詳細な解説と考察が満載。

[著書]★『ロシア語ことわざ集 日英仏対照』(編著・駿河台出版社)『フランス語ことわざ集』(編・駿河台出版社)『眼の中の死 古代ギリシャにおける他者の像』(共訳・法政大学出版会)『英語ことわざ集 日仏独対照』(私家版)『チャーホフ自身によるチャーホフ』(訳・未知谷)など。

鮫島正英(国語 1962～1964年 ラ・サール高校 物故(2006年2月逝去))

『万葉の魅力』 教育出版センター 2100円 1984年2月

[内容説明]柿本人麻呂や山部赤人らの万葉歌人の一つ一つの歌に、万葉仮名の訓み方、古代語、年代、地名の詮索、文法上の解明等々を、古人の説から最近の研究まで綿密に取捨し、自分の見解を述べる。原歌の気分を漂わせながら、読者の心に滲み入るような、平易な口語訳が添えられている。

[著書]『万葉集 作品の秘密』(教育出版センター)『わがラ・サール高校』(教育出版センター)『古文解釈講義 難関大学に挑む』(駿々堂書店)など。※鮫島先生は鹿児島県のラ・サール高校卒業、東京大学国文科卒業後、函館ラ・サール高校教師を経て、ラ・サール高校で国語教師。

村元直人(理科 1964～1993年 函館短期大学 函館市日吉町在住)

★『蝦夷地の外人ナチュラリストたち』 幻洋社 1995年 2000年12月

[内容説明]江戸時代末期、他に先駆けて海外に窓を開いた蝦夷地。訪れた外国人博物学者たちは、その自然に何を見出したか。列伝で綴る北海道ナチュラルヒストリー。植物学者マキシモビチ、アルブレヒト医師、貿易商ブラキストン、地震学者ミルン、動物学者モース等々。

[著書]★『北海道の食 その昔、我々の先人は何を食べていたか』(幻洋社)『学校に未来はあるか 画一化 それは死だ!』(北海道教育社)

津田洋行(国語 1964～1969年 明治大学文学部 東京都青梅市在住)

★『透谷像構想序説 伝統と自然』 笠間書院 1500円 1979年5月

[内容説明]明治期に近代的な文芸評論(「厭世詩家と女性」「内部生命論」など)をおこない、27歳で自殺した北村透谷におけるキリスト教と陽明学の関連などの伝統との関わりあい、及び透谷の内部に関する自然の問題を双軸にして、透谷が日本の近代の創出に際して苦悶したひとつの可能性を追究する。

[著書]『近代への架橋 明治前期の文学と思想をめぐって』(共著「東アジア的近代への道」・蒼丘書林)『本多秋五の文芸批評 芸術・歴史・人間』(共著「本多秋五の歴史小説論・私論」・菁柿堂(発売・星曇社)『文芸とメディア その過去と未来』(共著「メディアとしての政治小説」・蒼丘書林)など。

宮崎守成(数学 1965～1976年 函館工業高等専門学校 物故(2008年逝去))

『初等数学』 近代文芸社 2039円 1994年11月

[内容説明]我々が住む地球の意味を、「万有引力」による自然現象を通して考える数学書。「ケプラーの法則の周辺」と「自然現象としての軌道」の二部構成で、万有引力に迫る。

[著書]『虚像の塔 1～4』(私家版)『関数の発見物語 これが初等関数だ』(トムズ出版部)

大谷隆昶(理科 1966～1969年 広島工業大学 広島県大竹市在住)

★『大砲と帆船』(訳) 平凡社 2800円 1996年3月

[内容説明]中世を通じて絶えずイスラムの脅威に受け身の対応を余儀なくされ続けたヨーロッパが、突如反攻に転じ、東は日本、西はアメリカにいたるまでの大洋の覇権を握ることができたのは何故なのか…。

[著書]『錬金術師ニュートン ヤヌス的天才の肖像』(訳・みすず書房)『科学的発見の現象学』(共訳 紀伊國屋書店)『理性の考古学 フーコーと科学思想史』(共訳・産業図書)ほか。

高月 晋(英語 1967～1972年 函館大学 函館市上湯川町在住)

★『英検辞典』 丸善 4725円 2003年9月

[内容説明]この単語ではこう出題される！ 単語・熟語を引くと例文が問題形式で載せてあり、その難易度を英検1級から4級までのレベルに記号で分類。TOEIC、TOEFL、通訳ガイド試験、大学入試などにも大いに役立つ辞典。

[著書]『「たとえ」で学ぶ英語』(丸善)『「言い回し」で学ぶ英語 英検2級からのステップ・アップ』(同文館出版)

石井恭一(倫理 1970～1972年 ラ・サール・ホーム 仙台市在住)

『丘を下っていった人 聖ラ・サールの生涯』 ラ・サール学園同窓会(鹿児島) 3000円

[内容説明]近代教育の礎を築いたといわれ、母校の学園の名にもなっている聖ジャン・バティスト・ド・ラ・サールの生涯を詳細かつ丹念に迫った評伝。[この本の売り上げは仙台ラ・サール・ホームに寄付されています]

函館ラ・サール高校同窓生“創造の森”

2010年10月23日・函館ラ・サール創立50周年記念式典を期に、音楽・美術・芸能など、さまざまな芸術方面で活躍している同窓生の作品などを紹介する“創造の森”を作成しました。

今回新たに“創造の森”に2期・榎 大輔さん(声優・ナレーター)と37期・板倉 匠さん(フラメンコ舞踊手)が加わりました。

※可能な限り調べましたが、まだ芸術分野で活躍している方々がいらっしゃると思います。

ご存知の方は東京同窓会事務局 hlstokyo@yahoo.co.jp または函館同総会HP管理人・島本肇 h_shimamoto@hotmail.com までお知らせください。

(データ作成 8期・野呂春樹)

菊池俊治(1期) 木版画家

〔経歴〕1944年函館市生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒業。同大在学中は棟方志功・恩田秋夫に学んだ。70年、日本板画院展・新人賞を受賞する。各国に取材旅行を重ねて創作活動を続けており、ニューヨークや2005年1月、函館で画業40年記念の個展(「菊池俊治 木版画の世界展～熱きふるさと、函館を思いつづけて…」)など国内外で114回の個展を開催、ベルリン国際版画展招待出品をはじめ、内外の多数の美術展に出品、海外での評価も高い。2001年のアメリカ同時多発テロ直後のニューヨーク個展には、市民を励まそうと、救助活動をする消防士をモチーフにした作品も出した。黒々とした黒と太い線を駆使した作品には力強さがみなぎる。「異国情緒の漂う函館の街が創作の原点」と、函館をテーマにしたシリーズも製作している。雑誌「論座」(朝日新聞社2008年9月で休刊)の表紙も担当した(2003年2月～2005年9月)。2010年より「ガラス絵」に挑戦している。

〔著書〕『つきがみていたはなし』(共著 こぐま社 1260円 1987年9月 版画で月夜のファンタジーを表現した、ロマンチックな絵本)
『木版画ノート』(共著 版画作家に学ぶ「墨摺り版画」「ストライプの服」「裏手彩色」「函館夜景」 視覚デザイン研究所 2100円 1988年7月 誰でも美しい木版画を楽しめるように、プロの技術をわかりやすく紹介)

志村智雄(1期) 舞台俳優/演出家/劇作・脚本家

〔経歴〕1944年函館市生まれ。早稲田大学第一法学部卒業後、東京演劇アンサンブル付属養成所を経て、70年に「前進座」入座。70年6月、全国巡業『肥後の石工』が初舞台。主な舞台は『青べか物語』蒸気河岸の先生役(主役) 『ろば』ろば一文字号役(主役) 『さぶ』さぶ役(主役) 『唐茄子屋』伯父六兵衛役 『御浜御殿綱豊卿』新井勘解由役 『銃口』北森政太郎役 『今日われ生きてあり』香坂司郎役(主演) 『天平の躰』業行役など。映画出演には『寅次郎の縁談』(松竹) 『落陽』(日活)、テレビ出演には『北の家族』(NHK朝ドラ) 『伝七捕物帖』(日本テレビ) 『煙が目にしみる』(NHK)などがある。舞台の演出も数多く、98年、劇団俳小『どき回りのハムレット』の演出で、池袋演劇賞豊島区長賞を受賞した。2010年10～12月には前進座特別公演『夢千代日記』で劇作・演出をしている。得意な語学は函館弁というほど、故郷函館をこよなく愛す。北海道公演も多く、2010年8月には札幌で市民劇『今も聞こえる藻岩の叫び』の演出をした。「良く性格が描かれた個性的な人物ならどんな役でも挑戦したい」をモットーにしている。現在、「前進座」座友。

榎 大輔(2期) 声優・ナレーター

〔経歴〕1946年函館市生まれ。学習院大学経済学部卒業。ナレーション界の第一人者で、落ち着いた語りが特徴ではあるが、作品によって、いろいろな語りを使い分ける。バラエティーからドキュメントまで多くのレギュラー番組を持ち、榎の声を耳にしない日は無いほどである。1988年にシグマ・セブン創立に参加。2001年、自らの経験による“語り”への想いをライブで表現するために「語座」を結成し、積極的に活動、毎年公演を続けている。“読み語り”という新たなジャンルを切り開いた第一人者とも称され、名実共

にこのジャンルの権威。2006年以降、シグマ・セブンの経営から退き、今は一人の所属タレントとしてテレビや舞台の語り続けている。北島三郎らとともに函館市観光大使を務める。テレビで数多くの番組で声優として、語り・外国映画の吹替え・アニメ・CMナレーションなどを担当。現在の主なレギュラー出演番組として、『水戸黄門 第43部』(TBS)の語り、『ザ!世界仰天ニュース』(日本テレビ)『所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ』『週刊ニュース新書』(テレビ東京)などのナレーション。ほかにも、企業VPや教育用ビデオなど多数出演。音楽、イベントなどのステージの司会、番組の司会、リポーター、キャスター、ラジオのディスクジョッキーなども務める。<http://www.makidaisuke.com/>

あがた森魚(山縣森雄 5期) フォークシンガー/シンガー・ソングライター/俳優/映画監督

[経歴]1948年留萌市生まれ。明治大学文学部中退。72年、「赤色エレジー」にてデビュー。当時、アメリカのフォーク・ロックやヒッピームーブメントなどに強い影響を受けながらも、その影響下に留まらず、日本の大正や昭和のロマンティックな大衆文化を彷彿とさせる、幻想的で架空感に満ちたオリジナリティあふれる作品世界を音楽、映画を中心に創り出していった。2008年、還暦を迎えライブツアー「惑星漂流60周年！」を全国各地で展開、2009年2月の記念イベント「Zipang Boyz 號の一夜」まで含めたドキュメンタリー映画『あがた森魚ややデラックス』が2009年10月に公開、全国順次公開中。2009年2月のライブ盤『Zipang Boyz 號の一夜』も好評発売中。月刊日記映画を毎月制作、上映会も行い、ライブも全国で展開、引き続き意欲的な活動が続いている。雑誌「荷風！」(日本文芸社)に毎月エッセイを連載中〔※函館ラ・サールも出てきます。いずれ単行本になる予定とのことです〕。
<http://www.agatamorio.com/>

[ディスコグラフィ]CD 70年代『蓄音盤』『乙女の夢』『噫無情』『日本少年(チパンゴ・ボーイ)』『君のこと好きなんだ。』etc
80年代『乗物図鑑』『永遠の遠国の歌』『バンドネオンの豹(ジャガー)』『バンドネオンの豹と青猫』『ミッキーオの伝説』etc
90年代『プラネッツ・アーベント』『ピロスマニア海へ行く』『24時の惑星』『第七東映アワー』『日本少年2000系』『あがた森魚のラジオ・ショウ』etc
2000年以降『佐藤敬子先生はザンコクな人ですけど』『ギネオベルデ(青いバナナ)』『タルホロジー』etc
[フィルモグラフィ]監督作品『僕は天使じゃないよ』(74年)『オートバイ少女』(94年)『港のロキシー』(99年) 出演作品『つぐみ』(90年 主人公まりあのお父役)『失樂園』(97年 主人公・久木の同僚役)『人のセックスを笑うな』(2008年 猪熊さん)etc

三嶋典東(5期) グラフィック・アーティスト/イラストレーター/装幀家

[経歴]1948年瀬棚郡今金町生まれ。武蔵野美術大学造形学部商業デザイン専攻卒業。在学中より雑誌のデザインや書籍の装幀・装画を手がける。70年代に栗津潔、寺山修司の下で経験を積んだのちにフリーとして独立、以降、イラストレーター、ブックデザイナー、グラフィックデザイナーとして、印刷メディアにおいて幅広く多彩な活動をしてきた。80年代に“線”の魅力に取り付かれて以来、作家としての創作活動を開始し、線画を描き続けてきた。80年代中期、5年間かけて立て続けに刊行した3部作の作品集『RAIN TRAIN』『風 WIND MIND』『光 LIGHT FIGHT』(岩崎美術社)や、2009年、“線”描シリーズの新たに3テーマ「砂」「泡」「波」を加え、576ページにも及ぶ作品集『LINE STYLE』(9000円 ブルース・インターアクションズ)等、自身の本領とする紙媒体による精力的な作品発表のほか、近年では、3時間にも及ぶライブドローイングを行う等、その創造はコマースデザインだけには留まらない。2005年より2009年まで武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授。東京イラストレーターズ・ソサエティ、日本図書設計家協会会員。2010年7~8月に渋谷・NANZUKA AGENDAで、大型アクリルと透明フィルムに描かれた新作と25年間の作品群から厳選されたドローイング作品を集めた個展「三嶋典東 LINE MAN」を行った。そのほかの作品には『線生活 LINE LIFE』『線の贈り物』(岩崎美術社)『オリーブの天使たち』(河出書房新社)『仔馬のハル』(架空社)DVD『PEN-ish Line Life 三嶋典東の線次元』(BEAMS+MASSAGE)など。W・バロウズ『裸のランチ』(河出書房新社)など、単行本の装幀・挿画も多数手がける。

元岡一英(6期) ジャズ ピアニスト

[経歴]1950年有珠郡伊達町(現・伊達市)生まれ。音楽好きの両親の影響で音楽に目覚める。中学ではブラスバンド、在学中はグリークラブ。68年、慶応大学入学のため上京。騒乱の街新宿にてジャズに出会い、衝撃を受ける。その後、松本英彦4、向井滋春5に加入、70年代旺盛な演奏活動を続ける。80年に渡米、バリー・ハリスに大きな刺激を受ける。83年帰国後、オリジナリティーとジャ

ズの融合をめざし、高橋知己 (ts)らと北海道バンドを結成。89年『Visions』 91年『5minutes a go』 92年『Quite a dance』をリリースし、94年に解散。その後も現在におけるジャズの可能性を追求し、旺盛に演奏活動をし、現在に至る。自己のトリオのほか、渡辺文男 5、中村誠一グループなどで活躍中。 <http://members.jcom.home.ne.jp/mtookaz/>

[ディスコグラフィ] CD『スペイシング・アウト』(向井滋春らと) 『ヒップ・クルーザー』(向井滋春らと) 『MAKE SOMEONE HAPPY』(高橋知己らと) 『アジア・モダニズム』(大山日出男らと) 『アーバン・ビバップ』(大山日出男らと) 『Born to Music』(渡辺文男らと) 『ノスタルジア』(竹内直らと) など。

高橋知己(7期) ジャズ テナー・サクソ奏者

[経歴] 1950年常呂郡常呂町(現・北見市)生まれ。在学中はグリークラブ、軽音楽同好会に在籍。そこで元岡一英さん(6期)、寺下誠さん・菊地昭紀さん・芳野泰郎さん(共に8期)らと知り合う。72年、自己のカルテット(寺下誠 p、米木康志 b、守新治 d)で新宿ピットイン にデビュー。70年代は自己のカルテットのほか、向井滋春 5、古津良治郎グループ、森山威男 4等で活動。79年、初リーダー作『TOMOKI』。80年代はエルヴィン・ジョーンズ(ds)ジャパニーズ・ジャズ・マシーン(84~90年)、渡辺文男(ds)、寺下誠(p)グループなどに参加。また元岡一英(p)らと北海道バンド(84~93年)を結成。その後は自己のグループのほか、渡辺文男(ds)、清水くるみ(p)グループなど数々のセッションで活動。 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tomokey/>
[ディスコグラフィ] CD『Feeling Good』(AKETA' DISK 2009年 2800円 編成で、レギュラー・グループらしく息の合った演奏を展開) 『Nothin' But Coltrane』(AKETA' DISK 2007年 2800円 ジョン・コルトレーンを信奉する高橋知己が、コルトレーンへ捧げた入魂の作品) 『Blues to Elvin』 『RECONFIRMATION』 『Nothing Like You』 『PERHAPS』 『MAKE SOMEONE HAPPY』など。

寺下 誠(8期) ジャズ ピアニスト

[経歴] 1951年檜山郡江差町生まれ。函館市育ち。小学校の頃からピアノを始め、中学の時にセロニアス・モンクを聴いてジャズに興味を持ち、在学中に高橋知己さん(7期)、浜田均さん(9期)らと共に、Jazz 研を創立。早稲田大学理工学部入学とともにジャズ研に入部、レギュラーメンバーとなり、在学中からプロとして活動し始める。77年にはニューヨークへ渡り、翌年、ボブ・バーク(ts)らと第一作『グレートハーベスト』をレコーディングする。帰国後、ハロルド・ランド(ts)と共演した第二作『トポロジー』をリリース。自己のトリオで第三作『イーハトーブ』をリリース。海外のジャズメンとの共演も多い。毎年、ジャズセミナーを開催したり、新宿ピットインでジャム・セッションの進行役を務めたり、若手ミュージシャン育成にも力を注いでいる。 <http://www.geocities.jp/bulldog11th/>
[ディスコグラフィ] CD『イーハトーブ』(東京サウンドシティ 2500円 1996年6月録音 ピアノの鬼才・寺下誠がハードに、リリカルにジャズを綴る!! バド・パウエルの流れを汲む、知的でピアニスティックな演奏はモダン・ジャズ・ピアノ の手本となった趣がある) 『グルーヴィー・インディード! テイチク/ユニオン編』(森山威男カルテットらと) 『マクラジャ』(平田王子らと)

菊地昭紀(8期) ジャズ サックス/フルート奏者

[経歴] 1951年帯広市生まれ。富良野市育ち。在学中はグリークラブ、軽音楽同好会に在籍。そこで元岡一英さん(6期)、高橋知己さん(7期)、寺下誠さん(8期)らと知り合う。卒業後、上京。一年ほど中野のジャズ喫茶「ジャズオーディオ」で働いた後、ピットインに入社。小宅珠美 5、渡辺文男 5、ピットイン主催のビッグバンドの SMC オーケストラ、土井一郎「ミリオンバラ」などのバンドに参加。数多いサクソプレイヤーの中でも、ひととき音色の美しいプレイヤーとして定評がある。六本木ピットイン時代より PA エンジニアとして数知れないほどのバンド(日野皓正バンド etc)や、ジャズフェス(Mt.FUJI ジャズフェス、斑尾ジャズフェスほか)にて、エンジニアリングを担当。現在も日本にとどまらず、世界各国でその腕を振り続けている。

芳野藤丸(芳野泰郎 8期) ミュージシャン

[経歴] 1952年函館市生まれ。3歳の時からバイオリンをはじめ、小学生の頃にはプレスリー、リック・ネルソン等に親しむ。在学中はグリークラブ、軽音楽同好会に在籍。大学入学と同時に上京、学生仲間とバンド「WISH」を結成。72年「つのだヒロ・スペース BAND」にギタリストとして参加。73年「藤丸 BAND」を結成、西城秀樹のサポートバンドとして活躍。78年「One Line Band」を結成、

79年、バンド名を「SHOGUN」に変更。その後現在に至るまで数々のアルバム等をリリースし、人気を博す。ライター&スタジオ・ミュージシャンとしても活躍している。<http://www2u.biglobe.ne.jp/~krishna/fujimal/>

[ディスコグラフィ] CD『YOSHINO FUJIMAL』(イーストウエスト・ジャパン 2001年 SHOGUN のリーダーでヴォーカリストでもあった芳野が、解散後リリースしたソロ・アルバム(82年)第1弾の再CD化) 『ROMANTIC GUYS』(イーストウエスト・ジャパン 2001年 芳野藤丸ソロ第2弾アルバム(83年)の再CD化。ポップでキャッチーな作品満載の実に楽しいポップ・アルバム) シングル『思い出の内側』(83年 MOON RECORD) 『美しきライバル』(80年 CBS/SONY)など。

浜田 均(9期) ジャズ ヴィブラフォン奏者

[経歴] 1953年富良野市生まれ。6才より12才までマリンバを習う。在学中にジャズを好きになり、軽音楽クラブでジャズバンドを作り、マリンバで演奏を始める。東京都立大学(現・首都大学)理学部物理学科に進学するが、傍ら早稲田大学モダンジャズ研究会に参加して演奏活動を始める。卒業後、東京芸術大学別科打楽器に進学する。修了後、「猪俣猛&フォース」でプロデビューし、4年間で7枚のアルバムに参加。ジャズ・ヴィブラフォン奏者として高い評価を得る。解散後、91年、デル・マーレを結成し、CD『オブ・ザ・シー』をリリース。FM放送のパーソナリティーを担当したり、いろいろなミュージシャンのアルバムに参加したり、大学の講師を務めたり、多彩な活動を繰り広げる。また作曲活動も盛んに行い、『SORACHI 2』『Hanker Cool Sight』などの打楽器のための曲も好評である。音楽書に『名曲から学ぶ即興演奏法第1巻・第2巻』(コマキ楽器)がある。<http://www.linkclub.or.jp/~hihamada/index.html>

[ディスコグラフィ] CD『FOX DANCE』(クラウドナイン 2001年8月 2800円 ジャズ、クラシック……、あらゆるインストゥルメンタルミュージックの枠を越え、行き着いた、心に残る美しきメロディー) 『QUITE TRIANGLE』(クラウドナイン 2008年6月 2500円 女性フルート奏者・赤木りえ、新鋭ギター&ヴォーカリスト古川 麦と「クウワイエット・トライアングル」を結成。“Quiet”をテーマに「静」の持つ力強さを表現したアルバム) 『FURANO HOLY HILL』『夢のとき-Furano-』『森のうた』(フェビアン・レザ・パネと)など。

藤井真吾(11期) クラシック ギター奏者/作曲家

[経歴] 1954年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。ギターを独学で10歳より始める。京都大学農学部在学中にギターを岡本一郎に師事し、「第1回ギター音楽新人大賞」で優勝。81年、京都大学大学院農学研究科博士課程を中退し、スペインへ留学。いったん帰国して演奏活動を開始するが、再び渡西し、ホセ・ルイス・ゴンザレスのもとで研鑽を積む。「ルイス・コーレマン国際音楽コンクール」でコーレマン賞を受賞。87年、帰国後はギター独奏者として各地でリサイタルを開催するほか、上海音楽学院客員教授などの教授活動、近年は作曲家、指揮者としての活動も活発である。ギターの可能性を広げる活動を国際的に展開。作曲作品に『紺碧の舞曲』『パッサカリア』『天使の協奏曲』『ラプソディー・ジャパン』『Air』(以上、フォレストヒル出版)、編曲作品に『泥棒かささぎ序曲(ロッシェニ)』『ギター二重奏のためのE.サティ作品集』(以上、現代ギター社出版)などがある。13期・藤井敬吾さんとは兄弟です。京都府八幡市在住。<http://homepage3.nifty.com/shingogt/>

[ディスコグラフィ] CD『夜のスケッチ』(フォレストヒル 96年7月 3000円 フルード奏者・清水信貴と) 『黒いデカメロン〜レオ・ブローウェル作品集』(フォレストヒル 2000年10月 2940円) 『藤井真吾ギター作品集〜天子の協奏曲』『函館の音2〜函館のパイプオルガン〜』『猫の組曲』(CDつき絵本) DVD『W・カネンガイガーとその仲間達 in Japan 2008』など。

川村裕司(11期) ジャズ テナー/ソプラノサクソ奏者 フルード奏者

[経歴] 1954年帯広市生まれ。卒業後、上京。恵比寿ヤマハネム音楽院にて山口真文、渡辺貞夫に師事。ピットイン等ライブハウスで活動後、80年渡米。帰国後、「宮間利之とニューハード」に入団。84年、同楽団にて東欧ツアーや南仏ニースジャズ祭公演を行う。Jazz エイド等のコンサート、『ザ・ベストテン』(TBS)などにレギュラー出演。2000年、ニューヨーク JVC Jazz フェスティバルに出演。同楽団のコンサートマスター、ソリスト及びアレンジャーとして活躍中。このほか「角田健一 BIG BAND」、「マイク・プライス(tp)オーケストラ」のレギュラー、自己の和洋折衷バンド「パルパ」のリーダー。「〜ニューハード」角田〜BAND」で文化庁芸術祭優秀賞を二度受賞する。ミュージックスクール「ダ・カーポ」(東京・新大久保)で講師を務めている。

[ディスコグラフィ] CD『パルパ』(しゃくはち風庵 2003年8月 2940円 初のリーダーアルバム。自身のオリジナルのほか、日本

古謡、スタンダードナンバーも取り上げ、新たな境地を開拓している。尺八奏者・菅原久仁義とのコラボレーション作曲)『ビートジェネレーション』『JVC Jazz Fes. in NY』(宮間利之とニューハードで)『シャッフリング・シャッフフル』『サバンナ』『BIG SWING』(角田健一 BIG BAND で)『RESISTANCE』(堀剛らと)『DAVE'S FAVORITE Vol.2~ALL STANDARDS~』(石川ジャズオーケストラ“ピラミッド”らと)『Smoke Ring』(深水洋と)など。

植竹公和(11期) 放送作家/作詞・作曲家/ミュージシャン

[経歴]1954年函館市生まれ。法政大学日本文学部卒業。在学中は落語研究会に所属し、「飛び出せ!ものまね大作戦」(フジテレビ)「びっくりショー」「お笑い大集合」(関西テレビ系)でものまねチャンピオン。「みのもんたの激ラジモンターマン大逆襲」(文化放送)にレギュラー出演兼放送作家として活躍する。卒業後、オフィス・トゥーワンに放送作家兼ミュージシャンとして参加し、『オレたちひょうきん族』『夕焼けニャンニャン』(フジテレビ)『イトイ式』(糸井重里、キムタクらの深夜トーク番組)『ブロードキャスター』『はなまるマーケット』『上岡龍太郎がズバリ』(TBS)『11PM』『ザ・トップテン』『いい加減にします』(日本テレビ)『ミュージックステーション』(テレビ朝日)『小倉智昭のとことん気になる11時』(ギャラクシー賞受賞 文化放送)などを担当。角松敏生とバンドを組み、ボーカル(兼ベーシスト)ライブ活動。西武音楽賞準優勝。作詞作曲家として杏里『MERCURY LAMP』(作曲) 角松敏生『JUMPER』片岡鶴太郎&美保純『二人のメラメラ』など(作詞作曲) MC小宮(コント赤信号)『遣唐使です』宮田愛『冬の同窓会』など(作詞)がある。2005年、オフィス・トゥーワンを退社し、フリーになる。毎月、渋谷・ラママでのお笑いライブ「新人コント大会」をコント赤信号の渡辺正行、永峰明と司会と構成をし、爆笑問題、くりいむしちゅー、ウッチャンナンチャン、ダチョウ倶楽部、浅草キッド、さまーず、ピンクの電話、タカ&トシを輩出する。『ラジカントロプス 2.0』(ラジオ日本)で時々司会や、『所さんの笑ってコラえて』(日本テレビ)を担当している。HPのタイトルも「歌う放送作家」。 <http://d.hatena.ne.jp/sugarbabe49/>

小林 裕(12期) ジャズ ピアニスト

[経歴]1955年札幌市生まれ。日本大学芸術学部音楽学科作曲コース卒業。バークリー音楽大学デュプロマ修了。ピアノをバリー・ハリス、ジョアン・ブラッキンらに師事する。ピアニスト、キーボードプレーヤーとして多くのコンサートツアー、レコーディングに参加する。トロント及びモントリオール・ジャズフェスティバル、北海道文化使節としてロシアでのコンサートなど、海外でも演奏活動を行う。テレビ・ドラマの音楽を担当するほか、多くのコンサート、レコーディングのアレンジを担当し、作・編曲家としても活動している。
<http://www.geocities.jp/pfyutaka/whatsnew.html>

[ディスコグラフィ]CD『ビューティフル・ラヴ〜ザ・NYC・セッション feat.アル・ディメオラ』(ISOL DISCUS ORGANIZATION 2008年3月 2375円 エディ・ゴメス(b)、ビリー・ドラモンド(ds)、小林裕(p)のトリオを核に、奇才アル・ディ・メオラ(g)が参加した、スタンダードの数々をリカルに、時にダイナミックに演奏したスーパー・セッション)『CHANSON SANS PAROLES』(VME 2003年12月 2500円 あの頃の思い出、故郷の風、都市の喧騒、そして今を生きるということ…。あなただけの物語を奏でます)

のむらしんぼ(野村 伸 12期) 漫画家

[経歴]1955年茅部郡南茅部町(現・函館市)生まれ。立教大学文学部仏文科入学後に初めて触れた青年漫画に衝撃を受けて漫画家を目指し、2年の時に漫画研究会に入り、弘兼憲史と知り合い、アシスタントとなった。在学中の79年に小学館新人コミック大賞を受賞した『ケンカばんばん』(「コロコロコミック」)でデビュー。80年、同誌に「とどろけ!一番」を連載する。大学に通わなくなったために5年在籍したが、卒業はしていない。85年より95年まで「コロコロコミック」で4コマ『つるピカハゲ丸』を連載する。87年には同作で第33回小学館漫画賞児童部門を受賞、テレビアニメ化もされ、全25巻累計500万部のヒット作となった。以降も「コロコロコミック」の系列誌を中心として作品を発表し、児童ギャグ漫画界で活躍している。

[主な作品]『つるピカハゲ丸ベストセレクション』上・下 『ラチェット&クランク ガガガ!銀河のがけっぷち伝説』1・2巻 『あっぱれメガバカBoys』1・2巻 『男トラゴロウ』1・2巻 『チャレンジ!なぞなぞ日本一周』 『かげきベイビー パーブー赤ちゃん』 『どすこい!サイぼん』 『早おぼえ 日本史人物』 『早おぼえ 理科』 『トップ 放課後社長は12さい』(本名で原作を担当。作画・岩田和久) 『ケンカばんばん』(以上、小学館) 『とどろけ!一番』上・下(小学館 英知出版)など。

藤井敬吾(13期) クラシック ギター奏者/作曲家

[経歴]1956年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。7才よりギターを始め、独学で和声学や対位法を学びつつ、作曲を始める。15歳から数年間にわたり一日一曲を日記代わりに作曲する。イギリスのギルド・ホール音楽院とスペインのオスカル・エスブラ音楽院に学ぶ。85年、「ラミレス・コンクール」と「オレンセ国際コンクール」に連続して第1位となるほか、「マリア・カナルス国際コンクール」などに入賞している。96年、青山音楽財団より「青山音楽賞」を授与される。独奏、室内楽、協奏曲などのほか、ピアニストである夫人の藤井由美との二重奏を中心に、国内や海外でも多く演奏しているほか、大阪音楽大学短期学部と京都市立京都堀川音楽高校で講師を務めている。作曲作品の『羽衣伝説』はイギリスのクラシカルギター誌で20世紀を代表する作品として紹介され、いろいろなギタリストによりすでに10枚CDになっている。『組曲“怒りの日”』『中世組曲 藤井敬吾ギター作品集』『マンドリンとギターのためのソナタ』などの作曲作品が現代ギター社、ミュージック音楽館、トレッケル社(ドイツ)、ベルベン社(イタリア)から出版されている(13冊)。11期・藤井眞吾さんとは兄弟です。京都府向日市在住。<http://www.h3.dion.ne.jp/~keigo777/>

[ディスコグラフィ]CD『グラナダの花』(96年7月 2520円)『麗しき薔薇を知るもの』(マンドリン奏者・柴田高明と)『地中海協奏曲』(藤井由美と)DVD『Keigo plays Keigo Fujii 羽衣伝説〜』など7枚が現代ギター社から。『序曲』(ミュージック音楽館)など。

辻野正人(13期) 映画・テレビドラマ作品の監督/演出家

[経歴]1955年生まれ。早稲田大学卒業後、数々のテレビ・映画作品に助監督として携わった後、85年に東映テレビプロに移籍。『東映不思議コメディシリーズ』(フジテレビ)の助監督、88年、『おもいきり探偵団 覇悪怒組』(フジテレビ)にて監督デビューを果たす(同作品ではシナリオも執筆)。コメディ・シリアス・一般ドラマ・特撮(東映、松竹関係なく)を多岐に撮る存在は演出家として稀有の存在といっている。近年は自身のライフワークである『科捜研の女』シリーズ(全シリーズに唯一監督として参加)、『トミカヒーロー レスキューフォース』の両作品でメイン監督を務めるなど精力的に活動している。

[フィルモグラフィ]『ハロー張りネズミ』(助監督 大映 91年) 監督作品『幕末高校生』(フジテレビ 94年)『超力戦隊オーレンジャー』(テレビ朝日 95~96年)『木曜の怪談 七瀬ふたたび』(フジテレビ 95年)『闇のパープル・アイ』(テレビ朝日 96年)『電磁戦隊メガレンジャー』(テレビ朝日 97~98年)『星獣戦隊ギンガマン』(テレビ朝日 98~99年)『トミカヒーロー レスキューフォース』(テレビ東京 2008~2009年)『新・科捜研の女』シリーズ(テレビ朝日 2004~2010年)など。DVD作品に『超力戦隊オーレンジャー』『電磁戦隊メガレンジャー』『トミカヒーロー レスキューフォース』などがある。

対馬正徳(21期) ジャズ ギター奏者

[経歴]1964年青森市生まれ。11歳よりギターを始め、15歳でハービー・ハンコックの「処女航海」聴いてジャズに開眼。大学在学中よりロック、ポップス等のバンドでライブ活動開始。85年、現hi-posiの前身「森林倶楽部」に在籍。ジャズ・ロック・インストバンド「ファミファタール」やセッションワークを経て、97年よりジャズに転向。2004年、「ROSSA」に加入し民族音楽とジャズのコラボレーションを追求する。以降、applehead、安倍“王子”隆雄(R.O.M.A、元バービーボーイズ、PSY'S)、ともだしんご(元SHI-SHONEN、セッションドラマー)、やまもときょうこ(Vo.元オルケスタ・デル・ソル)、カウント・ベイシー楽団(結成75周年記念ジャパントアール2010)等と共演。現在、自己のグループ「The Sleek Jazz Trio~Quartet」を中心に、歌伴、ビッグバンド等で首都圏のライブハウスなどで活動中。<http://jazzy.blogzine.jp/>

[ディスコグラフィ]CD『SECOND TRIP TO LAKESIDE HILL』(2004年10月 2000円 ROSSAの2ndアルバム 収録楽曲「川の流れのごとく」「風」「アレキサンドライトの雫」「海沿いの街」「キャプリコーンの夢」ほか)

佐久間高広(29期) ジャズ ベース奏者

[経歴]1972年常呂郡留辺蕊町(現・北見市)温根湯温泉生まれ。学園祭で川村裕司(11期)カルテットの演奏に触れ、ジャズに目覚める。東京工業大学工学部入学後、ジャズ研究会に入部。ウッドベースを水上信幸氏に師事、ジャズのアンサンブルを新澤健一郎、平井景、岩瀬立飛等とのセッションを通じて学ぶ。94年、ピアニスト三尾真貴子のバンド「ANKIMO」にて、横浜ジャズプロムナ

ード優秀賞を受賞、続けて 1stアルバム・レコーディングに参加。95 年、武井康次バンドにて吉祥寺ジャズコンテストで最優秀賞受賞。96 年、新宿ピットイン若手 Pick Up メンバーにも選出され、野本晴美らと共演する。ジャズの中でもスイングからフリーまで幅広くカバーする柔軟な音楽性を持っている。現在、事業企画やキャリアカウンセラーの仕事をしなが、大堀博士ばんど、THIS、井上治 4、市川 h.s.trash スーパービギナーズジャムのレギュラーメンバーをはじめ、都内各所での“あまちゅあ”でライブ演奏活動を続ける。
<http://ameblo.jp/b-saku-jazz/>

[ディスコグラフィ]CD『トランジェント・シティー』(T-TOC RECORDS 2007 年 12 月 2500 円 井上オサム(ts)らと。物憂げなテナーサクソと、夜の帳の深さを思わせるスリングなオリジナル曲の、知的でクールな感触が心地よいクインテット・アルバム)

吉岡直樹(33 期) ジャズ ベース奏者

[経歴]1976 年函館市生まれ。中学時代、吹奏楽にてトロンボーンを始め、高校まで続ける。高校受験の頃、デューク・エリントン楽団の CD を聴いて衝撃を受け、ジャズ・ファンとなる。名古屋大学教育学部入学と同時に軽音楽部に入部し、念願のベースを始める。ジャズ・アンサンブルをギタリストの森田利久に師事。在学中よりジャズ・クラブで演奏する機会も得る。趣味では飽き足らなくなり、大学卒業後プロ入りを決意する。ベースを中村新太郎に師事、内外のミュージシャンから多くを学ぶ。2004 年、2 管編成のクインテットでリーダーとして初めて演奏する。以来、機会があるたびにリーダーとしても活動する。選曲に際しては、過去の名演や同時代のミュージシャンに対してはもちろん、作品を残した作曲者、作詞者に対しても誠意のある解釈を心がけている。現在、名古屋市在住。東海地方のジャズ・クラブを中心に活動中。<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/n-yoshioka/>

[ディスコグラフィ]CD『イントロデューシング』(Newburry Street Music 2008 年 12 月 2500 円 アルトサクソ奏者・浅井良将の 1st アルバムに参加) 『I May Not Remember』(Newburry Street Music 2007 年 4 月 2500 円 トロンボーン奏者・谷口知巳の 3rd アルバムに参加)

板倉 匠(37 期) フラメンコ舞踊手

[経歴]1979 年函館市生まれ。上智大学外国語学部英語学科在学中にフラメンコと出会い、岡野裕子に師事する。その後、森田志保、稲田進に師事。数度スペインへ渡り、ハビエル・ラトーレ、ファン・デ・ファン、アルフォンソ・ロサ、アントニオ・エル・ピパ等、数々の有名アーティストに師事する。日本では数少ない男性舞踊手として、東京・盛岡で教授活動を行いながら、地方公演や都内クラブオ、ライブハウス、イベント等に精力的に出演する。主な出演歴は 2010 年 8 月、六本木ヒルズの夏のイベント『EARTH BEAT GARDEN』、2011 年 7 月、渋谷『JZ Brat Sound of Tokyo』でのゲンザン・三好”尺八スーパーライブ in 東京”など。2010 年 12 月、故郷函館にて自身初のフラメンココンサートを主催し、好評を得る。躍動感あふれる、情熱的な踊りに定評がある。日本フラメンコ協会会員。<http://bailaortaku.blog123.fc2.com/>

高佐一慈(38 期) お笑いタレント/俳優

[経歴]1980 年函館市生まれ。特技はパントマイム・ピアノ・卓球。早稲田大学理工学部中退。在学中はお笑いのサークル「早稲田大学寄席演芸研究会」に所属、大学対抗お笑いバトルで決勝にいったことがある。2004 年、故林広志第 3 期コントサンプルがきっかけで尾関高文と THE GEESE (ザ・ギース) を結成、『ゼンセキ』(TBS) や『爆笑オンエアバトル』(NHK) に出演し、人気・注目を集める。2006 年、初の単独ライブ「手と足が同時に出る」をシアターイワトにて行なった。2008 年、お笑いホープ大賞爆笑レッドカーペット賞受賞、『キングオブコント』(TBS) 決勝進出。主なテレビ出演作品は『爆笑レッドカーペット』『爆笑レッドシアター』(フジテレビ) 『ザ・イロモネア』(TBS) 『ぐるぐるナインティナイン』(日本テレビ) など。現在、テレビやラジオ『大竹まことのゴールデンラジオ』(文化放送)、ライブで活躍中。舞台「夏の夜の夢」に出演。CM(PILOT「ハイテック C コレクト」など、CM や演劇にも活動の場を広げている。今、最も期待される若手お笑いコンビのひとつである。

[DVD 出演]『Dr.バードと優しい機械』(コロムビアミュージックエンターテイメント 2009 年 8 月 3990 円 収録内容「退屈なフライト」「逆(さかしま)」「易医者」「レコーディング」「むかしむかし詐欺」など) 『ALTERNATE GREEN』(コロムビアミュージックエンターテイメ

辻 博之(40期) クラシック 指揮者

[経歴]1984年小樽市生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を長内勲、多田羅迪夫に、ピアノを中川和子、北川暁子に師事。声楽・作曲・ピアノ・指揮と様々な分野で活躍。特にオペラの分野では、新国立劇場はじめ、日本各地の劇場で、チョン・ミン・ファン、井上道義などの指揮者のアシスタントとして、オペラ指揮と舞台制作を学ぶ。また、東京藝大在学中の2007年にモーツァルト「レクイエム」で指揮者デビュー。現在、Amici della Musica Orchestra、船橋シティコーラス、函館ラ・サール東京同窓会グリークラブOB合唱団「アズマスイモン」、中野MAX合唱団、コーロ・デル・フィオーレ、あすみが丘室内合奏団指揮者など、合唱指導者、市民コーラス、市民オーケストラの指導者として幅広く活動している。作曲作品は合唱団や個人からの委託作品が多く、原作、脚本も自らの手による音楽劇「奇跡の湖」(2008年5月初演)「しずかなじかん」(2008年12月初演)「しあわせのうた」(2010年9月初演、演出も)はいずれも好評を博した。2010年10月にはブラームス「ドイツレクイエム」、2011年には團伊玖磨「夕鶴」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ブラームス「交響曲第4番」を指揮するなど、今後の活躍が期待される。<http://profile.ameba.jp/tamagowa-amame/>